

第二十三回 帝國議會 貴族院議事速記録第十五號

明治四十年三月二十一日(木曜日)

午前十時十分開議

議事日程 第十五號 明治四十年三月二十一日

午前十時開議

第一 樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 郡制廢止法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第四 府縣制中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 鑛業法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 和歌山縣下郡界變更法律案(衆議院提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 治安警察法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 日本水産銀行法案(衆議院提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 漁業法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 北海道ニ市制ヲ施行スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第二十二 北海道會法中改正法律案(衆議院提出) 第二讀會

第二十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 北海道地方費法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 提出) 第一讀會

第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案 第一讀會

第二十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 提出) 第一讀會

第二十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 提出) 第一讀會

第二十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 提出) 第一讀會

第三十 貴族院規則第二十八條中改正ノ動議 會 議(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔宮田書記官朗讀〕

一昨十九日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

同日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

輸入原料砂糖戻税法中改正法律案

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案

樺太ニ於ケル租税ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ議決シタル衆議院提出印紙税法中改正法律案ハ即日裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日刑法改正案ニ關シ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトノ要求ヲ衆議院ニ通牒シ及其ノ委員ノ數ハ十名トナスニ決シタル旨ヲ通知セリ

同日議長ニ於テ選定シタル各特別委員ノ氏名左ノ如シ

裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案特別委員

子爵大久保忠順君 子爵鍋島直虎君 名村泰藏君
男爵玉松眞幸君 男爵新田忠純君 奥山政敬君

菊池武夫君 谷井勘藏君 堀之内庄右衛門君

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案特別委員

子爵樋口誠康君 子爵松平容大君 男爵小澤武雄君
男爵有地品之允君 男爵野田豁通君 男爵佐野延勝君
男爵安藤直行君 男爵本多政以君 櫻木嘉右衛門君

同日刑法改正案兩院協議委員ニ於テ當選シタル正副議長ノ氏名左ノ如シ
議長 侯爵黒田長成君 副議長 村田保君

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案特別委員會

委員長 渡正元君 副委員長 男爵赤松則良君

關稅定率法輸入稅表中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵柳澤保惠君 副委員長 馬屋原彰君

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵渡邊昇君 副委員長 男爵松平正直君

同日議員三宅秀君ヨリ七十七名ノ賛成ヲ以テ衛生參考館擴張ノ建議案ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律案

移民保護法中改正法律案

同日衆議院ヨリ同院提出明治三十四年法律第二十七號中改正法律案ヲ受領セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○伊澤修二君 本員ハ本月一日ニ國語及假名遣ニ關スル質問ヲ提出イタシマシタ所、今日ニ至リマシテモダ答辯ガゴザイマセヌ、然ルニ追々會期モ切迫シテ參リマシタカラ、又答辯ノ模様ニ依リマシテハ他ノ手段ヲ執ラナケレバナラヌコトモアラウト存ジマスカラ、ドウゾ此際速ニ答辯ニナリマスルヤ

ウニ政府ニ要求セラレムコトヲ議長ニ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ伊澤君ノ御要求ハ御要求通り申傳ヘマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノミヲ朗讀イタサセマス

〔東久世書記官朗讀〕

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月十八日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案

法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スルヲ要スルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ左ノ事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

一 土人ニ關スルコト

二 行政官廳又ハ公署ノ職權ニ關スルコト

三 法律上ノ期間ニ關スルコト

四 裁判所又ハ裁判長カ職權ヲ以テ選任シ又ハ選定スル辯護人、訴訟代理人又ハ訴訟承繼人ニ關スルコト

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 樺太ニ施行スベキ法令ニ關スル法律案ノ大體ヲ説明ヲ致シマス、樺太ガ新領土ニ歸シマシテ以來、今日マデハ占領當時ヨリ繼續ニナリマシタ軍政ヲ施行シテ居リマスガ、四月一日以後ハ普通ノ行政ヲ施クト云フコトハ既ニ先般陳述イタシマシタ通りデアリマス、然ルニ樺太ノ今日ノ情況ヲ見マスルノニ、内地ニ行ハレテ居ル所ノ總テノ法律ガ其儘、樺太ニ施行セラレルト云フコトハ、今日ノ事情ニ於テハ許サヌ情況デアリマス、故ニ此樺太ニ對シテハ特別ノ制度ヲ設ケナケレバナラヌ譯デアリマスルガ、是ハ

既ニ或ル機會ニ於テ申シマシタ如ク、臺灣ニ於ケル律令ヲ發布スルト云フヤ
ウナコトハ政府ニ於テ致サヌ積リデアリマス、唯ダ現ニ存在スル所ノ各種ノ
總テノ法律竝ニ將來制定セラルル所ノ法律ハ、悉ク樺太ニ其儘内地同様ニ實
施セラルルト云フコトハ樺太ノ事情ニ適セヌト考ヘマスルカラ、其法律ヲ樺
太ニ施行イタシマスルトキニハ悉ク勅令ヲ以テ其法律ヲ施行スルト云フコト
ヲ規定イタシタイ、斯ウ云フ考デアリマス、故ニ法律ノ全部デモ一部デモ現
存イタシテ居ル法律ヲ樺太ニ施行イタストキニハ、其都度勅令ヲ以テ施行ス
ルト云フコトヲ規定イタシタイ、但シ勅令ヲ以テ何ノ法律ノ全部又ハ一部
ヲ施行スルト云フコトヲ規定イタシマスルニ付イテモ、樺太ニ於ケル所ノ土
地ニ關スルコトナドハ、是ハ内地人同様ニハ出來マセヌ故ニ多少ノ取除ヲ要
スルコトト考ヘマスルカラ、又同ジ法律ヲ實施イタスニ付キマシテモ、官廳
ガ今日ノ所デハ四月以後ニ於キマシテハ總テ内務省ニ於テ樺太ヲ支配イタス
積リデアリマシテ、樺太長官ハ各省大臣ノ指揮ヲ受ケルト云フコトガ無イノ
デアリマスカラ、從ッテ法律中ニ各省大臣ノ名前ガ載ッテ居リマスルヤウナ場
合、又ハ町村役場等ノ未ダ設備ノ無キ所ノ役所ノ名前ガ載ッテ居ルヤウナ場合
ニ於テハ、是ハ勅令ニ於テ多少ノ取除ヲ設ケル必要ガアラウト考ヘマス、又法
律上ノ期限等ニ就キマシテモ樺太ハ交通不便ノ所デ内地同様ニ期限ハ法律發
布後幾日ニシテ行ハレルト云フコトハ出來兼ヘル、其他裁判所ニ關シテハ彼
ノ辯護人辯護士等モ自ラ乏シイ譯デアリマスカラ、是亦以テ多少勅令ニ於テ
相當ノ規定ヲ設ケナケレバナラスト思ヒマス、要スルニ樺太ノ今日ノ情況ニ照
シマシテハ、斯ノ如キ法律ヲ以テ現存シテ居ル所ノ、若クハ將來制定セラレル
所ノ法律ノ全部又ハ一部ヲ樺太ニ施行スルト云フコトハ、今日ノ事態已ムヲ得
ヌ次第ト考ヘマスカラ、篤ト御審査ノ上、御協賛アラムコトヲ希望イタシマス
○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モゴザイマセネバ次ノ議事日程ニ移リ
マス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委
員ノ選舉、是ハ議長ニ於テ選舉イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマスカラ議長ガ選定ヲ致シマ
ス、直ニ其委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔太田書記官朗讀〕
樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案特別委員

子爵岡部 長 職君 子爵青木 信光君 久保田 讓君
男爵金子 有卿君 男爵中島 久万吉君 石井省一郎君
一木 喜徳郎君 穂積 八束君 桑田 熊藏君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關ス
ル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ヲ致サセマス

〔東久世書記官朗讀〕

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付
候也

明治四十年三月十九日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

〔小字ハ修正文、ハ削除ノ符號ナリ、其他別表政府提出原案〕
〔中單位〕ニ稅率ノ間ノ橫線ハ衆議院ノ修正削除セルモノトス

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案

外國ヨリ臺灣ニ輸入スル物品ニシテ別表ニ掲クルモノニハ別表ノ稅率ニ依
リ輸入税ヲ課ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(別表)

輸入稅表

品 名

魚介類ノ内

種魚

蔬菜(砂糖、糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以テ貯藏シタル
モノヲ除ク)ノ内

罐詰、罐詰又ハ壺詰ニ非サルモノ

マカロニー、バーミセリー其ノ他各種ノ麵類

單位 稅率

從價 一割

從價 三割

同 四割

人參

生綿及線綿

屑綿及故綿

故ボンニ一囊

唐紙

瓦類ノ内

瓦(泐藥ヲ施シタルモノヲ除ク)

陶磁器破片及碎瓦

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 御承知ノ通りニ輸入税ノコトハ國定税率法ガゴザイマシテ決マツテアリマスデゴザイマスガ、臺灣ニハ特殊ノ事情ガゴザイマシテ、内地一般ニ適用シテゴザイマス所ノ國定税率ニ據リ難イ物産ガゴザイマス、ソレ故ニ臺灣ニ對シマシテ多少ノ取除ヲ致シマシタ別段ナ輸入税ガ設ケタイト云フ趣意デゴザイマス、會期ハ甚ダ切迫イタシテ居リマスガ、事柄ハ極簡單ナ事柄デゴザイマス、速ニ御協賛アラムコトヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 別段御質問モ無イヤウデアリマスカラ次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是モ議長ガ指名ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ、直ニ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入税ニ關スル法律案特別委員

子爵舟橋 遂賢君

子爵松平 直德君

三浦

安君

古澤

滋君

男爵毛利 五郎君

男爵淺野

守夫君

谷森 眞男君

田 健治郎君

澤原

俊雄君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、郡制廢止法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、會我子爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

郡制廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十八日

右特別委員長

子爵會我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵會我祐準君 郡制廢止法律案委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告イタシマス、本議案ハ此議場ニ於キマシテハ初メヨリ重要ト認メラレマシテ既ニ十五日、十七日ニ亘ツテ調査ヲ致シマシタ、尤モ午前午後ニ引續イテヤリマシタ日モアリマスルカラ、午前午後別ニ勘定シマス丁度五回ホド委員會ヲ開キマシタ、十五名ノ委員何レモ大概御出席ニナリマシタガ、唯ダ一人ハ時々御缺席ガアリマシタ、他ハ皆揃ウテ御出席ガアリマシタヤウナ次第デアリマス、委員ノ質問ハ細大殘ラズ殆ド盡シタト思フホド澤山質問モ出マシタ、之ニ對シテ内務大臣竝ニ政府委員ハ詳細ナ説明ヲ與ヘラレマシタ、又委員ノ要求ニ依リ若クハ要求ニアラザルモ政府ヨリ此調査ノ材料トナルベキ種々ナ書類モ與ヘラレマシタ、本案ノ大要ハ諸君御承知ノ通りデ、地方自治ノ三階級ヲ二階級ニ改メルト云フ案デアリマス、其理由ハ……提出ノ理由ハ既往ノ實驗ニ徴シ、地方ノ狀態國家ノ將來得失ヲ參考シテ……考察シテ之ヲ廢スル方ガ利益デアアル、サウシテ一ツモ害ハ無イ、斯ノ如ク認ムルニ依ツテ、此案ヲ提出シタト云フ理由書ガ諸君ノ御手許ニ……本案ノ提出ノ理由書ガ出テ居ル外ニ委シイコトガ書イテアリマス、又郡制ノ廢止ト郡役所ノ存廢トハ別問題デアアル、決シテ相關聯セヌ、郡制廢止ハ其必要ヲ認メルケレドモ郡役所ノ存置モ亦甚ダ必要ヲ認メルノデアアル、郡役所廢止論ニハ絶對的ニ反對スルノデアアル、斯様ニ政府ハ申シマス、併シ郡制廢止後郡役所ノ數ヲ減ズルコトハ、郡制施行前ノ如ク幾分か減ズルコトガアルデアラウ、郡制施行前ヨリモ尙ホ多ク廢スルコトガ出來得ルデアラウ、ソレハ今茲ニ幾ツヲ合併シ得ルト云フ

コトハ言明スルコトハ出来ヌガ、必ズ幾分カ減ズルノデアル、減ジ得ルノデアル、斯様ニ内務大臣ハ申サレマシタ、而シテ其郡制廢止ノ爲ニ經濟上ノ利益、即チ經費ヲ節スルコトハ幾分デアルカ、幾ラバカリデアアルカト云フ間ニ對シテハ三十萬圓ソコラデアアル、直接ニ減ジ得ル費用ハ三十萬圓バカリデアアル、勿論此郡制廢止法ハ決シテ經費節減ノ目的トシタノデハナイ、經費節減ハ目的デハナイガ、自然ノ結果トシテ三十萬クラ非ハ直接ニ減ジ得ルノデアアル、而シテ今ノ郡役所ヲ減ズル所ヨリ生ズル所ノ利益モ幾分アルニハ相違ナイガ、ソレハ現在ノ郡長ガ給料ガ餘リ少イガ爲ニ良郡長ヲ得カネル情實ガアル、ソレ故ニ郡役所ノ節減ヨリシテ得ル所ノ剩餘金ハ殘ツタ所ノ郡長ノ俸給ニ加ヘル積リデアアル、斯ノ如クシテ郡長ノ資格モ自ラ上ガリ、又能キ者ヲ得ラルル、即チ府縣ノ事務官ト同様グラ非ノ俸給ヲ與ヘ同様ノ取扱ヲシタイ、斯ノ如キ希望デアアルト政府ハ申サレマシタ、其他本案ノ提出ノ理由ハ多々アリマス、又説明モ澤山アリマス、是ハ自然討論ニ際シマシテ、大臣若クハ政府委員ガ自ラ辯明サレマセウト思ヒマスルニ依ッテ、惣ヒ本員ガ此所ニ説明ヲスルノハ却ッテ妨ト思ヒマスカラ總テ是ハ省キマスノデゴザイマス、ソレデ委員會ノ第五回目ニハ討論ニ移リマシテ、先ヅ反對論者ノ方カラ申シマスレバ、反對論者ハ豊裕ナル材料ヲ以テ反對ノ理由ヲ細詳ニ論述サレマシタ、又反對論者ノ中ニ本制度、即チ郡制制度ノ設立ノ當時、即チ元老院時代ニ遡ッテ歴史のニ論セラレタ御方モアリマス、サウシテ現在將來ニ於ケル利害得失ヲ論述サレマシタ、サウシテ反對ノ理由ヲ明ニサレマシタ、又反對論者ノ一人ハ前者トハ少シ方針違ヒマシテ申サレマスルノニハ、斯ノ如キ大問題ハ尙ホ調査研究ヲスル餘地ガ十分ニアル、到底短日月ノ能クスル所デナイ、ソレ故ニ此度ノ議會デ之ヲ實行スルコトニハ反對デアアルト云フ、斯ノ如キ反對論者モアリマシタ、又賛成論モナカ、反對論者ニ負ケズ劣ラズ辯ゼラレマシタ、内務大臣其他政府委員ノ原案ノ維持說ハ申スマデモナク、委員中ニ於キマシテモ地方制度ノ歴史ヲ古イ源平時代ヨリ説キ起サレテ、郡制ノ如キ三級制度ハ現在ニモ將來ニモ必要デナイト論ゼラレマシタ、寧ろ三級制度ハ利益ガ無いノミデナク、地方政治ノ上ニハ害ガ有ルト論ゼラレマシタ御方モアリマシタ、而シテ賛成論者ハ多クハ事實ヲ擧ゲテ其論據ヲ證明サレマシタ、雙方トモ三人ヅツ發言ガアリマシテ、討論終結ノ動議ガ成立イタシマシタ、此ニ於テ採決ヲ致シマシタレバ、原案即チ廢止案九名、反對即チ郡制廢スベ

カラズト云フ御方ガ四名、此日ハ一人ノ缺員ガアリマシタ、ソレデ四ニ對スル九ノ多數ヲ以テ廢スベシト云フコトニナリマシタ、本案ハ前ニモ申シマス通り重要ナル問題ト初メヨリ認メラレタ問題デアリマスニ依ッテ委員會ニ於テ四ニ對スル九ノ多數ヲ以テ可決シタニモ拘ラズ、此議場ニ於テハ賛否相互ノ演説モ多數ニアル趣デアリマス、自然、論者ノ論旨ハ此通告ヲナサレテ居ル所ノ演説者ガ説明セラルル時分ニ、自然諸君ニ於キマシテモ明瞭ニ御了解ガ出来ルト思ヒマスルニ依ッテ委員長タル私ハ今茲ニ詳細ノコトハ陳述イタシマセヌ、私一個ノ所見トシテハ此席ニ於テ陳述スルコトヲ避ケマシテ、唯ダ委員長タル職務上ノ報告ニ止メマス、或ハ時宜ニ依リマシタナラバ、再ビ此壇ニ出テ諸君ニ御目ニ掛カルカモ知レマセヌ、唯ダ私ハ原案賛成者ノ一人デアアル、日本ノ地方政治ハ二階級ヲ以テ足ル、將來ニ於テモ現在ニ於テモ二階級デ足ル、外國輸入ノ三級制度ハ日本ニ適當シナイト云フ原案賛成者ノ一人デアアルト云フコトヲ茲ニ一言申上ゲ置クノミデアリマス、右報告ヲ致シマス、一木君

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告ノ順序ニ依リマシテ御登壇ヲ促シマス、一木君

〔一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○一木喜徳郎君 本員ハ郡制廢止法律案ノ特別委員ノ一人ト致シマシテ、遺憾ナガラ政府ト所見ヲ異ニ致シマシテ、委員會ノ席上ニ於キマシテ反對ノ意見ヲ述ベマシタ所ガ不幸ニモ多數委員ノ容ルル所トナリマセズシテ同案ハ委員會ヲ通過スルニ至リマシタノデゴザイマス、併シ私ハ郡制廢止後ノ將來ニ付キマシテハ誠ニ憂慮ニ堪ヘマセヌノデ、再ビ茲ニ郡制廢止スベカラズト云フ意見ヲ述ベマシテ、諸君ノ公明ナル御判斷ヲ仰ギタイト思ヒマス、唯今委員長ヨリ委員會ノ經過ニ付キマシテ詳細ノ御報告ガゴザイマシタガ、其中一言チヨット私カラ抗議ヲ申込ミタイコトガアリマス、即チ委員長ノ御報告中ニ、賛成論者ハ多ク事實ヲ基礎トシテ立論サレマシタト云フ御報告ガアリマシタノデアリマス、是ハ裏カラ解シマスルト、本員等反對論者ハ空論ヲ基トシテ議論ヲシタカノ如クデアリマスガ、本員等ハ決シテ左様ナ考デハナイ、私ドモハ随分色々ノ統計類モ調査イタシマシテ、各種ノ材料ニ基イテ反對意見ヲ發表イタシタノデアリマス、勿論ソレハ委員長ノ御判斷デアリマスカラ、其御判斷ニ對シテ非難ヲ加ヘル譯デハアリマセヌケレドモ、私ドモハ決

シテ空論ヲ以テ此問題ヲ決シヤウト云フ考デナイト云フコトダケヲ、ドウゾ御承知置キヲ願ヒタイノデアリマス、私ハ此問題ヲ決スルニ付キマシテハ、先ヅ問題ノ性質ヲ明ニシテ置クノ必要ガアルト思ヒマスカラ、委員會ノ席上デモ其コトヲ述ベタノデゴザイマス、元來是ハ如何ナル問題デアリマスカ、是ハ申上ゲルマデモナク五百有餘ノ郡ノ自治體ヲ全廢イタスト云フ案デゴザイマス、唯ダ單純ナル行政上ノ區畫ヲ廢止スルトカ、若クハ變更スルトカ云フノ案デハナイノデゴザイマス、自治體ト行政區畫ノ區別ノアルト云フコトハ殊更ニ此所デ申スマデモゴザイマス、併シ私ハ唯ダ自治體ト行政上ノ區畫ト法律ノ上ニ區別ガアルト云フコトヲ認ムルノミナラズ、精神上ニモ大ナル區別ガアルト云フコトヲ認メナケレバナラスト思フノデゴザイマス、行政區畫ノ問題デアリマスレバ、時ノ便宜ニ依リマシテ或ハ之ヲ廢シ或ハ之ヲ變更イタシ若クハ一旦廢止イタシマシタ後ニ之ヲ復活イタスト云フコトモ何時デモ出來ルノデゴザイマス、併ナガラ自治體ノ廢止變更ト云フコトハ決シテ斯ノ如ク輕シク行フベキモノデハゴザイマス、又一旦之ヲ廢止イタシマシタ後ニ他日其過チヲ悔イテ之ヲ復活スルト云フコトモ決シテ容易ナルコトデハゴザイマス、郡制廢止案提出以來、國務大臣政府委員ヨリ屢御説明モ承ツタノデアリマスガ、私ハ政府ノ御説明ニ依ルト此行政區畫ト自治體トノ精神上ノ區別ニ餘リ重キヲ置イテ居ラナイカト云フ疑ヲ懷イテ居ルノデアリマス、政府當局者ハ恰モ行政區畫ノ廢止變更ト殆ト同一ノ精神ヲ以テ自治體ノ存廢ヲ論ジテ居ラルルノデハナイカト云フ疑ヲ懷イテ居ルノデゴザイマス、一面ニ於キマシテハ五百有餘ノ郡ヲ全廢イタシテ、一面ニ於テハ大ニ町村ノ合併ヲ行ツテ、單ニ當局者ガ行政ノ便宜ト認ムル所ノモノノミヲ標準ト致シテ地方自治體ノ廢合ヲ行ハウトスルノガ内務省ノ御方針デハナイカト云フ疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、是ハ誠ニ自治制度ノ基礎ヲ破壞スル所ノ極メテ危險ナル御方針デアルト言ハナケレバナラナイ、政府當局者ノ御言明ニ依リマスレバ、町村ノ合併ナドハ人民ノ相當ナ希望ニ反シテ之ヲ行ハナイト言ハレマスケレドモ、現ニ地方ニ於テ實行ヲ致シ、又現ニ地方ニ於テ企テツツアル所ノ實況ヲ見マスルニ、只管事業經營ノ便宜ノミヲ重シマシテ、共同親和ノ精神デアルトカ、或ハ隣保睦睦ノ氣風デアルトカ云フモノニ對シテ如何ナル損害ヲ與ヘルカト云フコトハ、殆ド顧ミナイヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ畢竟、自治體ト行政區畫トノ間ニ精神上、大ナル區別ガアルト云フコトヲ能ク認メ

ナイ結果デアルト申サナケレバナリマセス、唯今議題ニナツテ居リマス所ノ郡制廢止案モ、畢竟同ジヤウナ精神ニ出タモノニ外ナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、政府當局者ガ申サレルニ、郡ニハ古來自治ノ要素ガ無イト、謂ハユル自治ノ要素トハ何ヲ言ハレルノデアルカ、議會制度ノ如キガ昔ノ時代ニ無カッタト云フコトハ固ヨリ怪シムニ足ラス、獨リ郡ノミデハナイ、町村デモ必シモ議會制度ガアッタト云フ譯デハナイノデアリマス、唯ダ町村ト云ヒ、郡ト云ヒ、天然ノ地形ニ依リマシテ人情風俗ヲ同クシ、利害ノ關係ヲ同クシテ居リマスカラ、段々議會制度ノ如キハ一般ニ認メラルルニ至リマスレバ、自ラ此區域ヲ基礎ト致シマシテ、茲ニ議會制度ガ發達シテ參ルノデアリマス、法律モ亦此發達ヲ助ケテ行カナケレバナラナイノデゴザイマス、私ハ郡ニハ斷ジテ自治ノ要素ガアルト確信イタシテ居ルノデゴザイマス、今若シ行政區畫ノ廢止變更ト同ジヤウナ精神ヲ以テ、單ニ行政上ノ便宜ノミヲ標準ト致シテ郡ノ存廢ヲ議スルガ如キコトガアリマスレバ、是ハ問題ノ性質ヲ誤認シタルモノト申サナケレバナリマセス、次ニ此問題ハ、郡制ヲ新設スルノ利害如何ト云フ問題デハゴザイマス、現行ノ郡制ヲ廢止スルノ必要アリヤ否ヤト云フ問題デゴザイマス、新ニ郡自治體ヲ認ムルノ可否如何ト云フ問題デハナクシテ、郡ノ自治ヲ剝奪スルノ當否如何ト云フ問題デゴザイマス、郡制ガ現ニ存在イタシテ、自治體ノ三級制度ト云フモノガ現行ノ制度デアリマスル以上ハ、我々現行制度ノ維持ヲ希望スル者ハ別ニ三級制度ノ必要ヲ證明スルノ責任ハ無イノデゴザイマス、却ツテ三級制度ヲ變ジテ二級制度ト爲スノ必要ヲ證明スルノ責任ハ、郡制廢止案ヲ提出セラレタ所ノ政府ニアルノデゴザイマス、若シ此證明ガ十分デナク、郡制廢止ノ利害ニ付キマシテ些カデモ疑ガアルト致シマスレバ、現行制度ヲ存置スルト云フコトハ當然ノ論結デゴザイマス、現行制度ハ政府案ヨリモ、委員會ノ決議ヨリモ幾倍ノ力ノアルモノデアルト云フコトハ論ヲ俟タナイノデゴザイマス、又郡制制定ノ當時ニ於キマシテハ隨分之二對シテ異論ガアッタト云フコトハ事實ニ相違ゴザイマス、併シ其當時ニ於キマシテ郡制ノ制定ニ對シテ異議ヲ述ベタ所ノ人ミハ、今日ニ於キマシテ同ジ理由ヲ以テ郡制ノ廢止ニ反對スルコトガ出來ルノデアリマス、ナゼカト申シマスレバ先キニ郡制ヲ制定スルニ當リマシテハ、郡ガ自治體デナイト云フノガ其當時ノ現行ノ制度デアッタノデアリマス、ダカラシテ現行制度ヲ變更スルノ必要ガ無イト認メタ所ノ人ミハ其當時ハ郡制ノ制

定ニ反對スルノガ相當デアル、併シ今日ニ於キマシテハ、同ジ論者ノ現行制度ヲ變更シテ郡制ヲ廢止スルノ必要ガ無イト云フノ理由ヲ以テ此案ニ反對イタスノモ亦至當ノ條理デアルト考ヘルノデアリマス、ソレダカラシテ郡制ノ廢止ノ利害ト云フコトヲ、郡制制定ノ利害ト云フコトト同ジ標準ニ依ッテ論ジマスルノハ、全ク立論ノ基礎ヲ誤ッタモノデアルト言ハナケレバナリマセヌ、次ニ此問題ニ付キマシテハ、深ク郡制廢止ト郡役所廢止トノ關係ヲ考ヘテ見ナケレバナリマセヌ、此事ニ付キマシテモ先刻委員長ヨリ既ニ御報告モアリマシタノデ、固ヨリ法律上、郡制ノ廢止ト云フコトハ郡役所ノ廢止ヲ必然ノ結果トスルモノデナイト云フコトハ論ヲ待チマセヌ、併ナガラ事實上ニ於キマシテ郡役所ノ廢止ト郡制ノ廢止トハ離スベカラザル、或ハ離スベカラズト云フノハ少シ言葉ガ過ギテ居ルカモ知レマセヌガ、頗ル深い關係ヲ有ッテ居ル直ニ明デアルト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ法律上ノ問題ト致シテ本員ハ不幸ニシテ内務大臣ト意見ヲ異ニシテ居リマス、内務大臣ハ郡制ガアツテモ郡役所ノ廢止ハ出來ルト云フコトヲ當議場ニ於テ言ハレタノデアリマス、此點ニ付イテハ私ハ内務大臣ト全ク意見ヲ異ニシテ、郡制ガアツテハ郡役所ノ廢止ハ出來ナイト云フコトヲ確信イタスノデアリマス、併シ斯ノ如キ法律問題ハ暫ク措キマシテ、事實上、此二ツノ問題ノ間ニ密接ノ關係ノ有ルト云フコトハ蔽フベカラザルノ事實デゴザイマス、衆議院ニ於キマスル郡制廢止案ノ經過ヲ見マシテモ、或ハ郡役所廢止ノ前提トシテ郡制廢止ニ賛成スルノデアルト言ヒ、或ハ郡役所廢止ニ伴ハナイ郡制廢止ニハ反對デアルト言ヒ、其他此二ツノモノノ間ニ密接ノ關係ガ有ルト云フコトヲ證明スベキ言論ハ幾ラモ速記録ニ殘ッテ居ルノデゴザイマス、又原内務大臣ハ當議場ニ於テ郡役所ヲ廢止スルノ意思ハ毛頭ナイト云フコトヲ明言セラレテ居ル、之ト同時ニ政友會ハ郡役所廢止ノ建議案ニ付イテハ自由問題トスルヲ云フコトヲ決シテ居ルヤウニ承ッテ居ル、又ソレヨリ前政友會ノ院內總理タル長谷場君ハ或ル公開ノ席上ニ於テ盛ニ郡役所廢止ノ必要ヲ論ジテ居ラレヤウデアアル、是等ノ事實カラ或ハ郡役所廢止ハ郡制廢止ニ引續イテ起ル所ノ問題デハナアカト云フコトヲ憂ヘテ、郡役所ノ運命ニ付キマシテ深ク憂慮ヲ懷ク者ガアリマスルノハ、決シテ無理ナラスコトデアルト思ヒマス、又先刻委員長ノ御報告ニモアリマスル通り、内務大臣ハ郡制ヲ廢止シマスル以上ハ、郡役

所ノ合併ハ行フ積リデアルト云フコトヲ明言セラレテ居ル、合併ハ行フケレドモ併シ郡役所ノ廢止ト云フコトハ決シテ出來ベカラザルコトデアルト云フコトヲ屢々明言セラレテ居ルノデアリマスルカラ、本員ハ現在ノ内務大臣ニ郡役所廢止ノ意思ノ無イト云フコトハ飽クマデ確信イタスノデゴザイマス、併ナガラ郡役所存在ノ保障ガ現内務大臣ノ在職中ニ止マルト云フコトデアッタラバ、誠ニ心細イ話デアルト言ハナケレバナラヌ、兎ニ角、前ニモ申シマシタル通り郡制ガ存在シテ居ッテハ決シテ郡役所ヲ廢止スルコトハ出來ナイ、一旦郡制ヲ廢止シマスル以上ハ郡役所ノ存廢ト云フコトハ單純ナル行政上ノ便宜ノ問題ニナルノデゴザイマス、ダカラシテ郡制ノ存スルト否トニ依ッテ郡役所ノ廢止ガ容易ニ行ハレルト行ハレナイトノ違ノアルト云フコトハ、何人モ爭フベカラザル所デアツテ、又此點ハ原内務大臣御自身モ認メラレタコトト本員ハ承知イタシテ居ルノデアリマス、即チ郡制廢止ト云フコトハ、郡役所廢止ノ關鍵ヲ時ノ當局者ニ引渡シテ仕舞フト云フモノデアルト申サナケレバナラヌ、是ダケノ覺悟ハ此郡制廢止案ニ賛成スル以上ハ我々ハ取ラナケレバナラナイノデゴザイマス、又序デニ此郡役所ノコトニ付キマシテ先刻、曾我委員長ヨリ御報告ノアッタコトニ付イテ私ハ一言意見ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、ソレデ郡役所合併ト云フコトハ郡制ガアツテハ容易ニ出來ナイ、郡制ヲ廢止スルノ一ツノ利益トシテ郡役所ヲ合併シ、其費用ヲ節約シ、之ヲ以テ郡長ノ俸給ニ充テヤウト云フノガ内務大臣ノ御腹案ノヤウデアリマス、併シ私ハ此御腹案ニ對シテハ幾分御同意ノ所モ有ルガ、全然御同意ヲ表示スル譯ニハ行カナイ、固ヨリ郡長ノ待遇ヲ善クスルト云フコトハ我々ノ夙ニ希望イタシテ居ル所デアツテ斯ノ如キ改良ノ出來ルコトハ一日モ速ナラムコトヲ望ムノデアリマス、併ナガラ此目的ヲ達スルガ爲ニ郡制ヲ廢止スルト云フコトハ、實ニ本末輕重ヲ誤ッタモノデアルト言ハナケレバナラヌ、勿論コレガ決シテ郡制廢止ノ重モナル理由デナイト云フコトハ本員モ認メマス、併ナガラ郡役所ノ合併ト云フコトハ郡制廢止ガ無ケレバ實行ガ出來ナイト云フコトハ決シテ無イノデゴザイマス、唯ダ郡制ノ存在イタシテ居リマスルトキニ郡ノ廢置分合ハ法律ヲ以テシナケレバナラナイ、即チ議會ノ協賛ヲ以テシナケレバナラナイト云フ事實ガ有ルノミデアアル、併ナガラ假令議會ノ協賛ヲ經ルモノト致シマシタ所ガ、若シ此郡役所合併ノ案ガ、極メテ適當ナ案デアリマスル以上ハ、幾分地方人民ノ苦情ガアルニ致シマシタ所ガ、不相當ナル

苦情ヲ採用イタシテ議會ガ正當ナ分合案ヲ否決スベキ理由ハ無いノデゴザイマス、即チ正當ナル郡ノ分合ナラバ郡制ガ存置イタシマシテモ、郡分合案ガ法律案ノ形ヲ以テ提出イタサレマシテモ、決シテ通過シナイト云フ憂ハ無いノデアリマス、ダカラ郡役所ノ合併ト云フコトト郡制ノ廢置ト云フコトトハ、何等ノ關係ノ無い問題デアル、ソレデ郡役所ノ合併、郡長ノ俸給ノ増加ト云フモノヲ幾ラカデモ郡制廢止案ノ理由ト致スト云フコトハ、私ハ絶對ニ認メナイノデゴザイマス、以上申上ゲマスル如ク、此問題ハ何レノ關係カラ申シマシテモ極メテ重大ナル問題デアルト言ハナケレバナラス、斯ノ如キ重大ナル法案ヲ提出イタシマスルノニハ餘ホド重大ナル理由ガ無ケレバナラナイト思フノデアリマス、然ルニ是マデ政府當局者ノ御説明ヲ承ルノニ、歸スル所、郡ハ是マデマダ發達ヲ致シテ居ラナイ、又將來ニ於テモ發達スル望ガ無い、地方自治體ハ二ツノ階級ニテ足リルノデアル、特ニ中間ノ階級ヲ設クルノ必要ガ無い、唯ダ是ダケデアアル、其他細カナ點ヲ數ヘテ郡制廢止ノ利益トシテ述べラレテ居リマスケレドモ、段々突キ詰メテ伺ッテ見ルト、ソレハ枝葉ノ點デアアル、重モナル理由デハナイ、重モナル理由ト申スハ唯今申シタダケデアリマス、誠ニ事ノ重大ナル割合ニハ簡單ナ理由デアルト申サナケレバナラナイ、郡ハ果シテ是マデ發達シテ居ラナイノデアアルカ、果シテ將來ニ於テ發達ノ望ガ無いノデアアルカ、本員ハ此點ニ付キマシテハ大ニ政府ト所見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、本員ノ見ル所ヲ以テスレバ、郡ハ既ニ教育、勸業、土木、衛生等ノ各種ノ方面ニ於キマシテ餘程ノ仕事ヲ爲シテ居ル、又餘程ノ效績ヲ舉ゲテ居ルト信ズルノデアリマス、ソレデ今一々數字ヲ舉ゲテ之ヲ證明イタシマスルノハ、餘リ煩ハシクナリマスカラ之ヲ避ケマスルガ、此事實ハ一々數字ヲ以テ之ヲ證明スルコトガ出來ル、決シテ本員等ハ唯ダ空想ヲ以テ斯ノ如キ議論ヲ致シテ居ルノデハナイノデゴザイマス、ソレデ唯今ハ教育事業ノ一端ニ付イテノミ申上ゲマシテモ、郡立ノ學校ノ數ハ、明治二十九年ト明治三十九年ト比較シテ見マスルト、非常ナ増加ヲ爲シテ居ル、明治二十九年ニ於テハ僅ニ八校デアッタモノガ三十九年ニ至ッテハ九十五校ニナッテ居ル、爾來又幾分ノ増加ヲ爲シテ居ルコトト信ジマス、而シテ此間年々ニ増加イタシマスル所ノ歩合ハ實ニ著シイモノデアアル、又勸業ノ事業ニ於キマシテモ或ハ試驗所、或ハ講習所ヲ設ケ、或ハ巡回教師ヲ置クト云フヤウナ各種ノ事業ヲ致シテ居リマシテ、殊ニ農政ノ上ニハ……農業行政ノ上ニ

ハ少カラザル效績ヲ舉ゲテ居ル、就中、巡回教師ノ成績ノ如キハ實ニ著シイモノデアアル、實ニ農政上ニハ餘程ノ效績ヲ與ヘテ居ルモノデアルト云フコトハ當局ノ人モ認メテ居ルノデアリマス、又土木ノ事業ニ於キマシテモ、今日マダ道路法ノ制定モ無ク、郡道ノ制度ト云フモノモ無いニ拘ラズ、郡ヲ利用シテ之ヲ經營イタシテ居リマスル所ノモノガ少クナイノデゴザイマス、現ニ昨年政府ヨリ配付ニナリマシタ所ノ材料ト今年配付ニナリマシタ所ノ材料トヲ比較シ、即チ明治三十八年度ト明治三十九年度トノ歳出ノ高ヲ比較イタシテ見マスルト云フト、土木費ニ於キマシテ數十萬圓ヲ増シテ居ル、略四十萬クラ非ノ増加デアルト思フ、勿論是ハ内務大臣モ説明セラレマシタ如ク、明治三十八年ハ戰時中デアリマシテ、明治三十九年ハ戰後デアリマスカラ、戰時中控ヘテ居ッタ所ノ事業ヲ戰後ニ於テ起スト云フ必要ガアッタト云フコトハ相違ナカラウト思フ、併ナガラ三十九年ニ於テハ政府ヨリ郡制廢止案ヲ提出サレテ居ルノデアアル、郡ノ運命ハ極メテ疑ハシイ場合デアッタノデアアル、ソレニモ拘ラズ斯ノ如ク郡ノ事業ガ發達シテ參ルト云フコトハ、詰リ實際ノ必要ガ遅々シテ居ルコトヲ許サナイ爲デアアル、勿論郡制ガ全國ニ施行セラレマシタノハ明治三十三年ノコトデゴザイマス、ソレデ郡ハ其以來、始メテ進歩ノ機運ニ向ッタノデアリマス、此事ハ矢張り數字ガ證明イタシテ居リマス、例ヘバ教育ノ事業ノ如キ、三十三年以來著シク増シテ居ル、其前ニ於キマシテハ、學校數ノ増加ノ如キハ歩合ガ餘リ著シクナイト云フ事實ガ有ルノデアリマス、ソレデ此時カラ數ヘテ見マスルト云フト、マダ今日マデ數年ヲ經過シタニ過ギナイ、ソレダカラシテ今日、郡ガ既ニ完全ノ發達ヲ遂ゲタト言フコトハ固ヨリ出來マセヌノデゴザイマス、併ナガラ是マデ經過シマシタ所ノ年所ノ短イノニ比較シテ考ヘテ見マスルト、既ニ相當ナ發達ヲ遂ゲタト言ッテ決シテ誤ガ無い、又既往ヲ以テ將來ヲ推シマスレバ、郡ノ事業ハ今後益々發達シテ參ラナケレバナラナイ、即チ郡自治體ガ今後益々發達シテ行クト云フコトハ疑ヲ容レヌスト思フノデアリマス、又或ル府縣ニ於キマシテハ郡ノ發達ガ頗ル遲緩デアルト云フ感ヲ免レヌモノモアリマスケレドモ、是ハ一ハ地方長官ノ縣治ノ方針如何ニ依ルノデ、成ルベク事業ヲ起サナイヤウニ消極的ノ方針ヲ執ル所ト、積極的ノ方針ヲ執ル所ト、又同ジ事業ヲ致スニ致シマシテモ、成ルベク組合ヲシテ致サスルト云フ方針ヲ執ル所ト、一ノ鞏固ナル團體ヲシテ經營セシムルト云フ方針ヲ執ル所トデハ、其間ニ著シイ徑庭ガアル

ノデア、從來或ル縣ニ於テ郡ノ發達シナイト云フコト、郡ノ發達ノ程度ノ
遲イト云フコトハ一ニ此地方長官ノ方針如何ニ依テ居ルノデアルト信ジマ
ス、併ナガラ既ニ他ノ縣ニ於テ現在發達シ、又漸次發達シツツアリマスル以
上ハ、今日發達シテ居ラナイ府縣ニ於キマシテモ、郡ノ發達シ得ナイト云フ
特別ノ理由ハ一モ無イノデアリマス、或ハ偶ニ郡ノ區域ガ小サク狹キニ過ギ
ルト云フヤウナ實例モ無イデハナイノデアラウケレドモ、大體カラ論ジマス
ルト、或ル縣ニ於テ發達シタ所ノ郡ガ他ノ縣ニ於テ發達シ得ナイト云フ特別
ノ理由ハ一モ認メラレナイノデアリマス、デ畢竟、郡ガ從來少シモ發達シテ
居ラナイ、又將來ニ於テモ發達ノ望ガ無イト云フコトハ、全ク事實ニ基カナ
イ、寧ロ事實ニ反シタル斷定デアルト申サナケレバナラナイ、デ政府當局者
ハ郡ノ事業ノ發達イタルノヲ認メマシテ、是等ノ事業ハ唯ダ郡ノ體裁ヲ
飾ル爲ニ、即チ郡制ガアル爲ニ出來タ所ノ事業デア、デ固ヨリ悉クサウデ
アルト云フコトハ申サレマセヌケレドモ、郡制アルガ爲ニ出來タ所ノ事業ガ
少クナイト云フコトヲ申サレノデアリマスガ、是ハ本員等ノ考デハ甚ダ苛
酷ノ議論デアラウト思フ、又甚ダ人情ニ遠イ議論デアラウト思フ、デ郡會議
員ハ固ヨリ各町村ノ有力者カラ成立ッテ居ルノデ、是等ノ有力者ガ各自ノ町
村ノ負擔トナルベキ事業ヲ唯ダ郡ノ體裁ヲ飾ルト云フガ如キ爲ニ議決スルト
云フコトハ、大體論トシテハ決シテ受取レナイノデアリマス、勿論タマサカ其
例ガアルカモ知レマセヌガ、大體論トシテハ決シテ斯様ナコトハ無イ筈デア
ル、人情斯ウ云フコトハ有ルベカラザルコトデア、尤モ郡ニ於キマシテモ
或ル村落ト他ノ村落トガ分取競争ノ結果ト致シマシテ、格別急要ニナイ事業
ヲ起シテ居ルモノモ無イデハゴザリマス、ケレドモ之ヲ府縣費分取ノ弊
ニ比ベマスレバ、寧ロ郡ニ於ケル弊害ガ遙ニ少イト云フコトハ確カナ事實デ
アラウト思フ、府縣費分取ノ弊害ノコトハ皆様モ段々御承知ニナッテ居ルコト
デアラウト思ヒマスルケレドモ、隨分著シイノデアリマス、殊ニ數年前ニ於キ
マシテハ其弊ガ殆ド極度ニ達シタト云ウテ宜シイ、或ハ格別必要ノ無イ道路
ヲ縣道ニ編入スルトカ、或ハ縣費ヲ以テ補助ヲ與ヘルノ學校ノ新設ヲ要ス
ルニ當ッテ、三ツモ四ツモ學校ヲ拵ヘル、一ノ病院ニ向ッテ補助ヲ要スルニ當
テ、三ツモ四ツモ病院ニ向ッテ補助ヲ要スルト云フ必要ヲ生ズル、デ殊ニ此
衛生費ノ支出ニ付キマシテハ、即チ此避病院ノ補助費ノ支出ニ付キマシテハ、
分取運動ノ激烈ナル結果ト致シマシテ多數ノ犯罪者ヲ出ダシタト云フ事實

ハ、或ハ皆様ノ尙ホ御記憶ニナッテ居ルコトデアラウト存ジマス、若シ郡ヲ廢
シテ其事業ヲ假ニ府縣費ニ移スト致シマシタナラバ、私ハ分取運動ノ弊ハ更
ニ一層ノ甚シキヲ來タスコトハ疑ヲ容レヌト信ズルノデアリマス、政府ノ當
局者ハ又郡ノ發達ヲ以テ町村ノ發達ヲ阻害スルモノデアルト致シマシテ、之
ヲ以テ郡制廢止ノ重モナル理由ト致シテ居ルヤウデア、併ナガラ郡ノ發達
シタ府縣ニ於キマシテ町村ノ發達ガ阻害セラレテ居ル：之ガ爲ニ阻害セラ
レテ居ルト云フ斷定ノ誤リデアルト云フコトハ數字ヲ以テ明ニ之ヲ證明スル
コトガ出來ルノデゴザイマス、若シ此斷定ガ果シテ事實デアラナラバ、郡ノ
發達シテ居リマスル所ノ府縣ニ於キマシテハ町村ノ支出額ハ少クナケレバ
ナイ、町村ノ事業ニ費ヤス所ノ費用ガ少クナケレバナラヌ等デア、然ル
ニ統計表ニ依ッテ調査イタシマススト全ク反對デゴザイマス、各府縣ニ付キマ
シテ一ノ町村役場アタリノ町村費ノ支出額ヲ比較シテ見マスルト云フト、郡
制ノ發達シテ居ル、郡ノ發達シテ居ル府縣ニ於キマシテハ、當ニ町村ノ支出額
ガ減ッテ居ラナイノミナラズ、却ッテ鄰接ノ府縣ニ比較シテ増シテ居ルト云フ
事實ガ現ハレテ居ルノデアリマス、即チ郡ノ事業ノ發達ハ當ニ町村ノ發達ヲ
害シナイノミナラズ郡ノ事業ノ發達スルガ如キ府縣ニ於キマシテハ、町村ノ
事業モ又步調ヲ合セテ共ニ發達シテ居ルト云フコトヲ證明シテ居ルノデゴザ
イマス、又事理ニ詎ヘテ考ヘテ見マシテモ、町村ノ發達ヲ扶ケルガ爲ニ郡ヲ
廢スルト云フコトハ甚ダ謂ハレノ無イ話デア、尤モ國ノ事業デモ、府縣ノ
事業デモ、郡ノ事業デモ、町村ノ事業デモ、其費用ヲ負擔スル所ノ者ハ人民
デアリマス、ソレダカラ國ノ事業ガ多クナッテ人民ノ負擔ガ重クナレバ、府
縣ナリ郡市町村ナリガ事業ヲ起ス爲ニ費用ヲ徵收スベキ餘裕ガ少クナルト云
フコトハ是ハ當然デアリマス、併ナガラ國家ノ大局ノ上カラ考ヘテ見マシテ
如何カト申セバ、國ノ事業ハ發達シナケレバナラヌ、又府縣ノ事業モ、郡ノ
事業モ、町村ノ事業モ、共ニ步調ヲ合セ釣合ヲ保ッテ發達イタシテ行ケバコ
ソ、始メテ國全體ノ發達ガ出來ルノデア、町村ノ事業ノ發達ノミニ專ニナッ
テ、府縣ノ事業ヲ阻害スルトカ、或ハ又郡ニ相當ノ事業ノ發達ヲ害スルト云
フガ如キコトハ、誠ニ一方ニ偏シタ議論デアルト申サナケレバナラヌ、又政
府當局者ノ説明ニ依リマスルト：イヤ、是ハ政府當局者ノ説明デハナク、
或ハ贊成論者ノ御説明デアッタカ知レマセヌガ、郡ガ其事業トシテ經營シテ
居ル所ノモノハ、町村ノ事業ヲ奪ッテ經營シテ居ルノデアルト云フガ如キ御

説ガアル、併シ此御説モ亦全ク事實ニ基カナイ斷定デアルト云フコトハ、前ニ述ベマシタ如ク、郡ノ發達シテ居リマスル所ニ於テ、町村ノ事業ガ又共ニ發達シテ居ルト云フ事實ニ依ッテ之ヲ反證スルコトガ出來ルノデゴザイマス、又事業ノ性質ニ付イテ論ジテ見マシテモ、郡ニ適スル事業ト町村ニ適スル事業トハ自ラ異ナル所ガアル、例、バ乙種ノ實業學校ノ如キハ最モ郡ノ事業タルニ適シテ居ルト云フコトハ、實業教育ノ局ニ當ッタ人ノ認メテ居ル所デアリマス、又試験所、講習所ノ類ヒハ町村ノ事業トシテハ到底發達ガ出來ナイ、大キナ町ナラバ或ハ格別デアリマスガ、普通ノ町村ノ事業トシテハ發達ガ困難デアルト云フコトハ、既ニ前議會中、政府ガ産業試験費ノ國庫補助法ヲ提出セラレマシタニ當リマシテ、當局政府委員ノ明ニ説明イタシテ居ル所デアリマス、現今、郡ノ事業ノドレノガ町村ノ事業ヲ奪ッテ居ルノデアルト云フコトハ、恐ラクハ何人ト雖モ之ヲ證明スルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、政府當局者ハ又自治體ハ二階級デ足リルト申サレマシタ、其理由ハ承ッテ見ルト、郡ノ事業ノ一部ハ縣デ之ヲ經營シ、一部ハ町村組合デ之ヲ經營スレバ宜シイノデアルト云フノニ過ギナイ、併シ郡ノ事業ハ府縣デ經營スレバ宜シイト云フノハ、極メテ自治ノ精神ニ遠イ御議論デアルト申サナケレバナライ、元來、自治體ヲ設ケタ所ノ趣意ハ何所ニアルカト申シマスレバ、申上ゲルマデモナク、或ル事業ノ利益ヲ享ケル所ノ人民ヲシテ自ラ其事業ノ費用ヲ負擔シ、其事業ノ經營ヲ負擔セシメヤウト云フ趣旨ニ他ナラヌノデゴザイマス、又斯ノ如ク利益ヲ享ケル所ノ人民ヲシテ、自ラ之ガ經營ニ任ゼシムルト云フコトハ、親切ニ且ツ經濟的ニ其事業ヲ經營スル所以ノ途デアアルノデゴザイマス、デ郡ノ事業ハ縣デ經營スレバ宜イト云フノハ、恰モ府縣ノ事業ハ國ガ自ラ之ヲ直營スレバ宜シイト云フノト同ジ議論デアアル、是ハ誠ニ自治ノ本旨ニ悖ッタ所ノ議論デアルト申サナケレバナライ、又郡ノ事業ハ町村ノ組合デ經營スレバ宜シイト言ハレマスルケレドモ、元來、地方ノ事業ハ成ルベク鞏固ナル地方團體ヲシテ之ヲ經營セシメルト云フコトガ自治制度ノ本旨デアアル、組合ノ如キ統一ノ無イ組織ヲ以テ地方事業ヲ經營セシメルト云フコトハ、已ムヲ得ザルノ變通法ニ過ギナイノデアリマス、ソレダカラシテ事業ノ二郡若クハ三郡ニ亘リマスルヤウナ類ヒハ、郡組合ヲシテ之ヲ經營セシメマシタリ、又三四箇村乃至五六箇町村ニ亘リマスルヤウナ事業ハ、町村組合ヲシテ之ヲ經營セシムルコトハ固ヨリ已ムヲ得ヌ、又適當ナ處分デアリマスレドモ、

或ハ二十箇町村、或ハ三十箇町村ト云フ如キモノヲ合セテ組合ヲ組織シマスルガ如キハ、決シテ町村組合、若クハ郡組合ヲ設ケマシタ所ノ制度ノ本旨デハ無イノデゴザイマス、又斯ノ如キ大キナル組合ノ混雜不整頓デアッテ極メテ弊害ノ多イト云フコトハ、實際ノ事情ニ通ズル者ノ等シク知ル所デゴザイマス、政府當局者ハ郡制ヲ廢止シテモ左マデ多クノ組合ヲ要シナイト云フコトヲ言ハレマスレドモ、現今一郡デ經營シテ居リマスル數多ノ事業ニ付キマシテハ、事業ゴトニ一ツノ組合ヲ設クルノ必要ヲ見ルモノモアルデアリマセウ、又現在ハ兎モ角モ將來地方事業ハ益々發達シテ參ルモノト見ナケレバナラス、其發達ニ伴ウテ組合ノ益々増加スルト云フコトハ疑ヲ容レナイノデアリマス、ソレダカラシテ町村組合ヲ以テ郡ニ代ヘルト云フコトハ制度ヲ簡易ナラシメルヤウデアアルガ、實ハ却ッテ制度ヲ錯雜セシメルノデアリマス、政府ハ三階級ノ自治體ヲ二階級ニ變更イタシテ制度ノ簡易ヲ圖ルト言ハレマスケレドモ、是ハ唯ダ紙上ノ、紙ノ上ノ簡易ヲ圖ルノデアッテ、決シテ實際上ノ簡易ヲ圖ル所以ノ途デハ無イノデゴザイマス、此經驗ハ御承知ノ通り、英國ガ既ニ十數年前ニ營メテ居ル所デアアル、然ルニ今却ッテ態前車ノ轍ヲ履ムガ如キハ、本員ハ誠ニ其意ヲ解スルコトガ出來ナイノデアリマス、政府當局者ハ又現在ノ組合ノ數ヲ舉ゲマシテ、郡制ガアッテモ組合ノ數ハ少クナイト云フコトヲ辯ゼラレマスルケレドモ、現在ノ町村組合ノ數ヲ以テ郡制制定當時ノ町村組合ノ數ニ比シテ見マスルト云フト、郡制制定以來、地方ノ事業ガ著シク發達シタニモ拘ラズ、其數ハ餘リ増シテ居ラナイ、是ハ畢竟郡制ガ大町村ノ組合ヲ設クルノ必要ヲ減ジタモノデアルト云フコトヲ證明スルノ材料トシテ認ムルコトガ出來ルノデアリマス、又現在ノ町村組合ノ數ハ少クナイト申シマスルケレドモ、大概ハ數箇町村ノ組合デアッテ郡ニ代ハル如キ大組合ハ極メテ少イノデアリマス、又組合ノ數ハ政府ノ供給セラレマシタ所ノ材料ニ依リマシテモ、各府縣區々デアアル、或ハ極メテ少イノモアル、必シモ各府縣皆多數ノ組合ガアルノデゴザリマセヌ、然ルニ郡制ヲ廢止シタラバ地方事業ノ發達ニ從ヒマシテ、各府縣皆殆ド數十箇町村ノ太ナル組合ヲ以テ之ニ代ヘルノ必要ヲ生ジテ參ルデアラウト思ヒマス、郡制廢止ノ結果ト云フモノハ徒ラニ地方ノ行政ヲ錯雜スルノ外、何ノ得ル所モ無イデアラウト信ジマス、又先刻委員長ヨリ郡制廢止ノ結果、經費ノ増減如何ト云フコトニ付キマシテ、御報告ガアリマシタ、政府當局者ノ御説明ニ依リマスレバ、先ッ適切ニ減リ

マスモノガ會議費デアリマス、即チ三十何萬圓ト云フ金額デアリマス、其外種々ノ費目ニ付キマシテ、是ガ節減ニナル、アレガ節減ニナルト云フ御説明モ承ツタガ、段々之ヲ突キ詰メテ參リマス、本員等ハ郡制廢止ノ結果トシテ節減ニナルト云フ事實ハ認メナイデアリマス、詰リ此會議費三十何萬圓ト云フモノガ、經費ノ増減如何ニ關シマシテ計算ニ上ボル所ノ金額デアアル、併ナガラ是トモ一方ニ於テハ町村組合ヲ設クルノ必要ガアリマスシ、殊ニ數十箇町村ノ大ナル組合ニ於キマシテハ會議費ノ額モ決シテ小サナ町村組合ノ會議費ト同視スルコトハ出來ナイ、斯ノ如ク大町村組合ノ數ノ増加ニ從ヒマシテ組合會議費モ漸次増加シテ參ラナケレバナラス、現在ノ所ニ於テ何程デアアルカト云フコトハ、チヨット判斷ガ付キマセヌガ、兎ニ角、此郡會議費ハ全體節減ニナルト云フコトハ固ヨリ申サレナイ、又政府當局者モサウハ申サレナイデアリマス、殊ニ町村組合ニ於キマシテハ特別ノ理事者ヲ設ケルモノモ少クハナイデアラウト思ヒマス、即チ此組合會議費ノ外ノ理事者ノ費用モ計算イタサナケレバナラス、是等ノ費用ヲ差引キマシテ、現實、節約ニナル所ノ金額ハ何程デアアルカト云フコトハ、到底確ニ之ヲ認メルコトハ出來ナイ、又將來組合ノ増加ニ伴フテ却ッテ費用ノ増加スルコトハ無イト云フコトモ、決シテ斷言ハ出來ナイノデゴザイマス、現ニ明治三十六年ノコトデゴザイマシタカ、衆議院ニ於キマシテ當時ノ政府委員、即チ今日ノ内務次官吉原君ガ説明シテ居ラルル所ニ依リマスレバ、郡制廢止ノ結果、殆ド費用ヲ節減スルコトハ出來ナイ、或ハ組合數ノ増加ニ依ッテ費用ヲ増加スルカモ知レナイト言ウテ居ラレル、又此會議費ノ金額ノ如キハ僅少ナモノデアリマシテ、之ニ付イテ餘リ論辯ヲ費ヤスノ必要モ無カラウト存ジマスカラ、私ハ大體ニ止メテ置キマスケレドモ、兎ニ角、此郡制廢止ノ結果ニ依ッテ人民ノ負擔ガ著シク輕クナルト云フコトハ、本員等ハ認メルコトハ出來ナイ、若シ此結果トシテ縣費ノ分取運動ノ弊害ヲ助長サレタナラバ、人民ノ負擔ハ或ハ却ッテ之ニ依ッテ増加スルカモ知レナイト考ヘルノデアリマス、又先刻委員長ヨリ郡役所合併ノ結果云々ト云フ御報告モアリマシタケレドモ、是ハ先刻モ申述ベマシタ通り、我々ニ於キマシテハ決シテ郡制廢止ニ關係ノ無イ問題ト認メテ居ルノデアリマスカラ、茲ニ論辯ヲ費ヤシマセヌノデアリマス、之ヲ要シマスルニ、郡ガ必要ノ無イ中間ノ團體デアルト云フコトハ地方自治ノ本旨ヲ顧ミナイ論斷デアアル、郡ノ將來發達ノ望ミガ無イト云フノハ事實ニ反シタル斷定デアアル

ト信ズルノデアリマス、若シ斯ノ如キ議論ニ基イテ郡制ヲ廢止スルト致シマシマシタナラバ、是マデ折角發達セムトシ來タル所ノ勸業、教育、其他各種ノ行政ニ一大頓挫ヲ來タスト云フコトハ火ヲ賭ルヨリ明ナコトデアルト信ジマス、ソレダカラシテ是等ノ行政ノ局ニ當リマス所ノ人々、又是等ノ行政ニ付イテ利害ノ關係ヲ持ッテ居ル人々ハ郡制廢止後、是等ノ事業ノ運命ニ關シテ深ク憂慮ヲ懷イテ居ルノハ怪ムニ足ラスノデアリマス、先日此議場ニ於キマシテ文部大臣並ニ農商務大臣カラ馬屋原君ノ質問ニ對シマシテ郡制ヲ廢シテモ教育、勸業ノ行政上ニ差支ナイト云フコトヲ答ヘテ居ラレル、是ハ私ドモハ固ヨリ問ハズシテ豫期シテ居ル所ノ御答デアアル、既ニ政府ガ政府案トシテ郡制廢止ヲ提出シテ居ルニ當リマシテハ、内閣ノ一員タル文部大臣、農商務大臣ガ郡制廢止ノ教育行政上差支ガアル、勸業上ニ障礙ヲ來タスト云フコトヲ明言サレル理窟ハ無イノデアリマス、併ナガラ是ハ農商務大臣、文部大臣ノ言明ヲ待タズシテ果シテ障礙ヲ及ボスヤ否ヤト云フコトハ、事實ニ依テ直ニ判斷ガ出來ルノデアリマス、私ハ其事實ニ依ッテ判斷シテ郡制廢止ハ是等ノ事業ノ上ニ一大頓挫ヲ來タスト云フコトハ誠ニ實益ノ無イ問題デアアル、私ハ委員會ノ席上ニ於キマシテ、内務大臣ニ向ッテ、ドウゾ斯様ナ實益ノ無イ制度ノ問題ニ力ヲ御用非ニナラズシテ、利用厚生ノ實務ニ向ッテ力ヲ注ガレ、國民民福實益ヲ與ヘル所ノ政策ヲ執ラレムコトヲ希望スルト云フコトヲ申上ケタノデアリマス、此場合ニ於キマシテモ亦重ネテ其希望ヲ申述ベマシテ、サウシテ本案ニ對シテハ絕對ニ反對ヲ表シマス、ドウゾ御賛成ヲ...

○議長(公爵德川家達君) 岡内男爵

○男爵岡内重俊君 本員ハ議長ニ要求ガゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 何デスカ

○男爵岡内重俊君 原案賛成ノ意見ヲ陳述スル心得ヲ以テ通告ヲ致シテ置キマシタガ、都合ニ依リ順序ヲ變更イタシマシテ、次ノ通告者タル鎌田君ニ譲リマシテ、本員ハ最後ニ御同シヲ願ヒマス、此コトヲ要求イタシマス

○議長(公爵德川家達君) ソレハ御隨意デアリマス、鎌田榮吉君

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 諸君、本員ハ一木君ニ反對シテ本案ヲ賛成イタス一人デアリ

マスカラ、聊カ其賛成ノ理由ヲ陳述ニ及ビマス、一木君ノ述ベラレマシタ如クニ、此地方ノ自治制ナルモノハ元ト都保縣睦ノ主義ニ依ツテ起タモノデアリマス、即チ此市町村ノ自治ヲ鞏固ニスルコトヲ以テ唯一ノ目的ト致サヌケレバナラヌ、而シテ現制度ニ於キマシテハ府縣郡、市町村ト云フコトニ三階級ヲ設ケラレテ居ル、之ヲ政府ガ此三階級ヲ二階級ニ爲サウト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、而シテ此郡ト申ス中間ノ團體ハ是ハ元々純然タル地理上ノ區畫デアアル、而シテソレヲ行政區畫トシテ維新以來襲用シ來タモノデアリマスルガ、即チ先年此自治制ヲ定メラルルニ當テ、府縣制、町村制、ソレニ加フルニ此郡制ナルモノヲ設ケラレタ、其設ケタ所ノ郡制ヲ日モ尙ホ淺クシテ其發達ノ如何ヲ見ズシテ之ヲ廢スルト云フノハ甚ダ其意ヲ得ナイコトデアルト云フノガ反對者ノ意思デ、何故ニ之ヲ廢スルノガ宜クナイカト申セバ、政府ハ單ニ之ヲ行政區畫ヲ廢スルガ如キ心持ヲ以テヤルガ、決シテ行政區畫デハナイ、自治體デアアル、此自治體ノ一階級ヲ廢スルト云フコトヲ斯ク輕々ニ爲サウト云フコトハ、ケシカラヌコトデアルト云フコトニ重キヲ置イテ、一木君ハ論セラレタ、是ニ於テハ私モ頗ル御同感デアアル、苟モ此自治體ナルモノヲ輕々ニ之ヲ廢スルト云フガ如キハ以テノ外ノコトデアアル、併ナガラ此自治體ナルモノヲ輕々ニ設ケタト云フコトハ、モウ一層甚シイ輕卒ナコトデアッタ、是ハ今日之ヲ申スト云フコトハ少シク不穩ニ涉リマスルケレドモ、私ハ忌憚ラク申セバ、此自治體ナルモノヲ輕シク設置スルト云フコトハ決シテ無イ等ノコトデアアル、故ニ此自治體ナルモノハ名稱コソ自治體デアリマスケレドモ、其實體ニ於テハ自治ノ生命ナキ所ノモノデアアル、唯ノ骸骨デアアル、唯ノ枯木デアアル、決シテ之ニハ樹木トシテ葉モ無ケレバ又根モナイモノデアアル、又是ガ動物トシテ血液アリ、肉アルモノデハ無イノデアリマス、唯ノ形式ニ過ギナイノデアアル、畢竟スルニ此日本ニ於テ、殊ニ政府部内ニ於テ、明治十五六年以來、頻ニ獨逸ノ制度ヲ模倣スルト云フコトガ行ハレタノデアアル、要スルニ此獨逸狂ト云フコトガ非常ニ流行シタノデアアル、ソコデ彼レモ獨逸、此レモ獨逸、殊ニ此行政上ノ組織ニ於テハ獨逸ノ人ヲ聘シテ、其說ヲ聽キ、又官吏ヲ獨逸ニ派遣シテ其制度ヲ視タ、而シテ何デモ凡ソ爲シ得ル限ハ此獨逸ノ制度ヲ輸入スルト云フコトニ汲々トシテ之ヲヤッタノデアアル、其時カラ識者ハ之ヲ笑ツテ居タノデアリマス、併ナガラ流石ニ此町村制府縣制ハ容易ク施カレマシタケレドモ、郡制ト云フコトニ至ルト云フト容易ニ之

ヲ實行イタサナカッタノデアルト云フノハ、規則ダケハ設ケテ見タケレドモ、如何ニモ之ヲ當嵌メルベキ所ノ實體ガ無イ、郡ト云フ區畫ハアルケレドモ自治ノ生命ヲ持ツテ居ラナイノデアアル、ソレハ成ルホド外國ノ例ヲ申シテモ、例ヘバ郡制ノ本元タル獨逸ノ如キハ矢張り英國ノ模造ヲシタモノデアアル、即チ今ヲ距ルコト百有餘年前ニ彼ノ有名ナルスタイント云フフレデリック大王ノ宰相、アノ人ガ英國ノ氣風ヲ慕ツタ、此氣風ヲ慕ツタ爲ニ先ヅ此地方自治制ヲ布イテ、而シテ漸クニシテ國會開設ニ及ボサウト云フ漸進主義ヲ以テ之ヲ制定シタ、其制定シタトキニ何故ニ三階級ヲ採ッタカト申シマスルト云フト、是ハ一方ニ於テ英國ノ制ヲ採リマシタケレドモ、又一方ニ於テ獨逸舊來ノ行掛リ、獨逸ノ歴史、獨逸ノ綱紀ト云フモノニ背ク譯ニハ行カヌ、ドウシテモ獨逸ノ歴史ニ背イタ所ノ制度ヲ樹エタ所ガ到底成長スルモノデナイト云フコトヲ見マシタカラシテ、ソコデ此獨逸ノ是マデノ歴史ハ如何デアアルカト云フト、諸君モ御承知ノ如ク非常ナル餘勢ヲ受ケテ居リマシテ、殊ニ日本ノ三百諸侯割據ドコロデハナイ、非常ナ細カナ所ノ豪族、細カナ所ノ諸侯ガ割據シテ居ッタガ爲ニ、隨分其領分ガ、犬牙錯綜シテ小サナル領主、小サナル大名ガ澤山居リマシタ所ノ其地方ニ向ッテ、其地方ノ制度ヲ布カウト云フノデアリマスカラ、是ハドウシテモ此郡ト云フヤウナ小サナ團體ヲ設ケナケレバナラヌ、是等ノ貴族、是等ノ豪族ガ領シテ居リマスル所ノ領分ト領分ノ間ニハ風俗習慣ヲ異ニシ、制度ハ無論、異ニシテ、而シテ甚シキハ此小區域ノ間ニ於テ度量衡ノ制品稅ヲ取ルト云フヤウナコトモ致シテ居ッタト云フコトハ、是ハ歴史ノ上ニ明ナコトデアアル、此歴史ヲ受ケタ所ノ獨逸ニ向ッテ自治制ヲ布カウトスルニハ、ドウシテモ此郡制ノ如キモノヲ布カザルヲ得ヌコトニナッテ來ルノデアアル、即チ此スタインガ著手シ又グナイストト云フ人ガ出テ改良シテ今日マデニ至ッタノデアリマスガ、若シスタインガ今日獨逸ニ現ハレタナラバ、百年ノ後ノ今日獨逸ニ現ハレタナラバ、或ハ此三階級ノ制度ヲ採ラズシテ二階級ニシタカモ知レヌト私ハ考ヘル、依ツテ郡ヲ廢スル、郡制ヲ廢スルト云フコトハ無論、重大ナコトデアリマスルケレドモ、斯ノ如キ唯ダ外國ノ制ノ形式ヲ採ツテ此國ニ布イタモノデアアルカラシテ、ドウシテモ是ハ將來ニ於テ發達シヤウ譯ガ無イ、又之ヲ置ク必要モ無イ、唯ダ外國ノ形式ヲ模倣シタト云フコトデアリマスカラ、之ヲ廢スルコトハ、容易デアアル、之ヲ設クルコトヲ爲

シタト云フコトハ、其責ト云フモノハ何レニ歸スルモノデアラウカト云フコトヲ私ハ糾サムト欲スルモノデアアル、而シテ一木君ガ言ハレマスルノニ、郡ノ三階級ト云フモノハ是非ナクテハナラヌ、斯ウ云フコトニ、ヒドク重キヲ置カレマスル、假ニ一木君ニ一步ヲ譲テ果シテ郡ガ要ルモノデアアル、地方制度ハ三階級ヲ設ケケレハナラヌモノデアアルト云フコトニ同意ヲ表シマセウ、サウスレバ、此郡制ヲトツテモ日本ニハ尙ホ三階級アル、如何トナレバ此町村ト申シマスルモノモ今日ノ町村ハ實際ハ郡ノ如キモノデアアル、町村ヲ聯合シ合併シテ造タル如キ團體デアアル、而シテ此町村ノ下ニ部落ナルモノガアリ、字ナルモノガアル、是ガ則チ村デアアル、是ガ眞ノ村デアアル、其村ノ中ニハ立派ナ自治ガ行ハレテ居リマス、其村ノ人民ガ寄ツテ祭禮ノ相談モスレバ又自身番ノ相談モスレバ其他、水利ノコトデモ又ハ其他ノ社會上ノコトデモ種々ノ相談ヲシテ其入費ハ協議費ト云フ名ヲ以テ決議サレテ居ル、此日本ノ部落、團體ト云フモノハ英國ノ「バリッシ」、佛蘭西ノ「コンミューヌ」ナドト云フ如キモノヨリモ遙ニ進ンダモノト云ウテモ宜シイデアリマス、サレバ部落ヲ以テ法律上デハ最下級ノ單位トハ認メテ居リマセヌガ、事實ニ於テハ最下級ノ單位ハ部落デアアル、部落ノ上ニハ町村ガアリ、町村ノ上ニ郡ガアル、郡ノ上ニ縣ガアル、郡制ガ四階級ニナツテ居ル、然ラバ此一階級ヲ外シタ所ガ、尙ホ一木君ヲシテ満足セシムルニ足ルノデアアル、而シテ此英國ニ於テモ近ゴロ郡ヲ置イタト云フコトガ一木君初メ反對論者ノ有力ナル根據トナツテ居リマス、併ナガラ私ハ唯ダ此英國ノ謂ハユル「カウンチー」デストリクトナルモノニ郡ト云フ譯語ヲ下ダシテ、而シテ之ヲ以テ人ヲ瞞著シヤウト考ヘルノハ甚ダ宜クナイコトト考ヘル、是ハ英國ニ於テ郡ト稱セラレルモノヲ千八百九十四年ニ置イタト云フノハ御説ノ如ク組合ノ錯綜ヲ單簡ニスルガ爲ニ之ヲ置イタノデアリマス、置イタノデアリマスケレドモ其區域ハ如何ニト云フコトヲ尋ネタナラバ、是ハ郡ヨリモ日本ノ今日ノ町村ノ方ニ近イモノデアアル、即チ此英國ノ郡、新ニ設ケラレタル新設ノ郡ナルモノハ是モ新タニ設ケタト云フコトハ事實デナイ、元カラアル、元カラ「ユニオン」ト云フモノガアル、「ユニオン」ト云フモノハ貧民救助ノコトヲ區域トシテヤツテ居ッタモノデアッタノヲ他ノ事業マデモ兼ネテヤルト云フコトヲヤッタノガ今度ノ改正デアッテ、而シテ其區域ノ廣狹ヲ申スト日本ノ郡ヨリモ日本ノ町村ニ餘ホド近イモノデアアル、如何トナレバ人口ニ於テハは一萬内外ノモノ

デアアル、尤モ非常ニ大キナモノモアル、又非常ニ小サイモノモアルケレドモ、要スルニ郡ヨリモ町村ニ近イモノデアアル、サウシテ見レバ英國ハ以前ハ二階級デアッタモノヲ三階級ニシタト云フコトハ日本ニ於テ町村ヲ合併シテ造ッタ町村ト少シモ變リハ無イ、英國ノ郡ノ下ニアリマス「バリッシ」ナルモノハ如何ナル業ヲシテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見マス、先ヅ燈ヲ點ケル、街燈ヲ點ケル、ソレカラ夜番、警備、即チ夜ル番ヲスル、是ヨリ外ニハセヌコトデアアル、是ハ何所デモヤルコトデアアル、自身番ヲスル、ソレカラ街燈ニ燈ヲ點ケル位ノコトハ誠ニ簡單ナコトデアアルト致シテ見マスレバ、英國ニ於テ新設ノ郡ナルモノニ於テ營ム所ノ教育、勸業、土木、衛生等ノコトハ、即チ日本ニ於ケル所ノ新町村、合併町村ニ於テ爲ス所ノモノト少シモ變ラヌ、而シテ此英國ノ新郡ノ外ニ尙ホ學校區ト云フモノガ依然トシテ存シテ居ル、學校ノ區域ト云フモノハ尙ホ之ニ據ラズシテ別ニ學區ト云フモノヲ存シテ居ル所ヲ見マスレバ、何モ日本ニ於テ郡ヲ廢シタ所ノ後ト變リハナイ、是ハ博學ナル一木君ニ於テ御承知ガ無イ譯ハ無イト思フケレドモ、全ク御議論ノ便利ノ爲ニ仰シヤルコトト私ハ考ヘル、ソレカラ一木君ノ御説ニ從ヒマス、郡ト云フモノハ將來大ニ發達ノ見込ガアル、頗ル有望ノモノデアアル、ソレヲ今ニシテ之ヲ切ル、之ヲ除クト云フコトハ甚ダ惜ムベキコトデアアル、輕卒ナコトデアアル、斯ウ云フ御説デアリマス、是ハ私ハ甚ダ其意ヲ得ヌコトデアアル、將來ノ發達ト云フコトハ何事デアルカ、郡制ヲ布クナラバ即チ布イタ其時カラ其郡ハ業已ニ發達シテ居ナケレバナラヌ、業已ニ立派ナル性格ヲ持ッテ居ナケレバナラヌ、今ハ誠ニ小サナモノデアアルガ、將來ハ大キナルモノデアアルゾト云フコトガ甚ダ分ラヌ、如何トナレバ今日、郡ノ事業ハ何カト云フト郡ノ事業ハ郡ノ下ニ多ク行ハレテ居ル、何ニ依ッテ行ハレテ居ルカト云フト即チ組合ニ依ッテ行ハレテ居ル、水利ノ組合、土木ノ組合、或ハ其他衛生ナリ、又ハ教育ナリ、種々ノ方面ニ於テ大ナル組合、又小ナル組合、種々ノ組合ガ設ケラレテ謂ハユル町村以上ノ衛生、教育、勸業、土木等ノ業ガ郡ノ下ニ無遠慮ニヤツテ居ル、サウシテ見レバ既ニ發達シテ居ル、事業ノ方ガ發達シテ居ル、サウシテアトカラ、婿入シテ來タ所ノ郡制ガ唯ダ指ヲ啣ヘテ之ヲ見テ居ルト云フコトデアアル、即チ郡ト云フモノヲ發達セシムル所以ハ何所ニアルカ、事業ガ發達スルト云フコトデアアル、其事業ガドウシテモ郡ニ寄ッテ來ナイノデアアル、一木君ハ地方自治ニハ町村ガ無ケレバナラヌト云フ、其地方自治ノ町村ノ下

ニ各種ノ事業ヲ纏メテヤラナケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、人爲的ニ設ケタ中心ニハ決シテ事業ハ集中シナイノデアアル、例ヘバ茲ニ「マグネツト」ヲ以テ立テレバ鐵ノ種類ハ之ニ吸集サレルガ、「マグネチズム」ノ物ヲ立ツテモ他ノ物ハ決シテ寄ツテ來ナイノデアアル、即チ今日ノ郡制ナルモノハ決シテ鐵デハナクテ、磁石デハナクテ唯ノ木材ヲ立テタノデアアルカラシテ、總テノ種類ノ事業ヲ之ガ吸ハズシテ、ソレノ好ム所ノ方向ヲ取ツテ歩行シツアルノデアアル、即チ河川ノ如キ、道路ノ如キモノハ、郡ト云フ區域ニ依ルコトハ出來ナイ、又學校ノ如キ勸業ノ如キモ其區域ニ依ルコトガ出來ズシテ、或ル種類ノモノ、河川道路ノ如キハ長キ線路ヲ取ラナケレバナラヌ、又衛生ノ如キ教育ノ如キハ圓キ形ヲ取ラナケレバナラヌ、學校ハ通學ノ便ヲ取ラナケレバナラヌ、道路ハ長ク續クト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、サウシテ見マスト云フト此郡ト云フ區畫ハ道路ニ向ツテモ何等ノ關係モ無イ、又通學ノ關係カラ言ウテモ何等ノ關係モ無イ、唯ダ己レハ郡ヲ立テル、獨逸ニ郡ガアルカラ己レノ方ニモ郡ヲ立テル、サア之ニ寄ツテ來イト言ツテモ、ソシナモノニハ決シテ事業ガ寄ツテ來ナイ、サウシテ見マスト云フト一本君ノ言ハルガ如ク郡ガ設立日尙ホ淺シト雖モ各方面ニ於テ發達ノ見込ガアル、又既ニ發達シツアルト云フコトノ證據ニ郡立ノ學校ガ二十九年ニハ八校デアッタモノガ三十九年ニハ九十校ニナツテ、教育費ガ四十九萬圓ニナツテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタ、成ルホドナツテ居リマス、ソレハ表ニナツテ居リマス、又是ハナルベキ等デス、郡會或ハ郡參事會ガ寄ツテドウモコッチノ郡ニモ唯ダ斯ウシテ居ッテ郡會ヲ開イテ其郡會ナルモノハ何ヲスルカト云ヘバ、郡會議員ノ旅費日當ヲ決議スルダケデハ、ドウモ是ハ面白クナイデヤナイカ、役者ガ寄ツテ役者ノ給料ヲ相談シテ歸ルダケデハ見物人ガ無イ、是デハ仕方ガナイカラ學校デモ起サウデヤナイカト云フ相談ヲ始メル、サウシテ見ルト何ガ宜カラウ、乙種農學校グラヲ見ルガ宜カラウト云フコトデ學校ヲ建テル、サウスルト郡ノ郡學校ヲ建テタカラ此方デモヤツテ見ヤウデヤナイカ、其又鄰デモヤツテ見ヤウデヤナイカト云フコトデ學校ヲ起ス、而シテ此學校ハ如何ナル學校ガ出來ルカト云フト、誠ニ不完全ナル學校ガ出來ル、又縣デ中學校ヲ置クガ郡デモ中學校ヲ置キ得ル規則デアアルカラ一ツ奮發シテ中學校ヲヤツテ見ヤウト云フノデ中學校ヲ拵ヘル、此中學校頗ル不完全ナモノデアアル、サウシテ之ヲヤツテ行キマスレバ、成ルホド十年間ニ學校ノ

數ガ十倍スル位ノコトハ出來マス、郡費ヲ四五十萬使フト云フコトハ出來マスガ、我々ハ之ガ爲ニ郡ヲ廢シヤウト云フノデアアル、政府者ノ言フ所ヲ取レバ、是モ體面ヲ飾ルタメ、又一方カラ言ヘバ郡ノ存在ノ理由ヲ人爲的ニ作ル爲ニ學校ヲ起シ農事試驗場ヲ起スト云フコトデ色ミナコトガ起ツテ來ル、ソレガ表ニ現ハレテ二十九年ニハ八校デアッタモノガ三十九年ニハ五十萬圓ニナル、之ヲ見テ喜バレルノハ一本君ニモ似合ハナイコト思ヒマス、是ガ我々ノ郡制ハ則チ不用ノ事業ヲ起シ不急ノ事業ヲ起シ國家ノ財源ヲ害スルモノト見テ廢サウト云フ理由ノ重モナル點デアアル、一本君ノ主ナル郡制存在ノ理由トスル所ノモノハ、則チ郡ノ廢滅ノ理由トナル所ノモノデアアル、ソレカラ又此郡ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、地方ノ長官ノ如何ニ依ツテモ大ニ其趣ヲ異ニスルモノデアリマシテ、地方長官ガ成ルベク育テルヤウニスルトキニハ郡ガ發達シマスガ、地方長官ガ郡ノコトニ冷澹デアルトキニハ發達シナイ、私之ヲ聽イテ驚クノ外ハナイ、實ニ憐ムベキ郡制ナルカナ、此區々タル府縣知事ガ心ヲ用ヰテ心配ヲスレバ郡ガ發達ヲシ、府縣知事ガ向フヲ向イテ居ル爲ニ發達シナイ、斯ノ如キモノガ如何ニシテ自治體ノ一階級トナツテ將來ニ良キ發達ヲ遂ゲルデアリマセウカ、シテ見レバ郡ノ發達ト云フモノハ郡ノコトニ熱心ナ知事ガ行ッテ芽ヲ出シ、又郡ノコトニ冷澹ナ知事ガ參ッタキニハ又萎ンデ來テ、例ヘバ一本君ガ知事ニナレバ發達ヲシ、我輩ガ知事ニナレバ郡ガ發達シナイ、潰レルト云フヤウナ郡デハ一向、郡ト云フモノガ自治體ノ生命アルモノトスル譯ニハ行カヌノデアアル、ソレカラ又此郡ノ事業ヲ縣ニ移スト云フト、則チ縣費分取ノ弊ガ起ツテ來ル、即チ政府ノ跡始末トシテハ、或ルモノハ町村ニ移シ、或ルモノハ縣ニ移サウト云フコトニナル、ソコデ縣ニ移スコトニナレバ縣費分取ノ弊ガ起ルト云フ說ガアリマス、成ルホド縣費分取ノ弊ガアルト云フコトハ我々モ認メルノデアアル、併ナガラ又郡費分取ノ弊ト云フモノモアルノデアリマス、例ヘバ河川、道路ノ如キ長イモノヲ郡デ經營シマス、河ノコトヲスルトキニハ山ノ方ニハ關係ガ無イ、併ナガラ山ノ方デモ同一ニ費用ヲ徵收セラルルノデアリマス、又山ノ方ニ關係スルコトヲ經營スル場合ニハ平地ノ方ニハ關係ガ無イケレドモ、矢張り同一ニ費用ヲ徵收セラルル譯デアアル、シテ見レバ若シ此河川沿岸ノ者ガ何カ金ノ要ルコトヲ起シタトキニハ山ノ方ノ者ガ其敵ニ何カ事業ヲヤツテ見ルト云フヤウ

ナコトニナツテ、矢張り郡費分取ガ行ハレテ居ルノデアル、今日縣ガ有ル以上ハ縣費分取ト云フコトハドウシテモ免レヌ、ソレト同時ニ郡ガアレバ郡費分取ト云フコトハ、ドウシテモ免レヌコトデアル、然ラバ縣費分取ノ上ニ郡費分取ヲ加ヘテ一木君ハ喜バウト云フヤウナコトデアル、又政府ノ郡制廢止ノ理由トシテ、郡ノ發達ハ町村ノ發達ヲ害スルト云フコトデアル、私ハ之ニ同意ヲ表スルノデアル、併ナガラ一木君及反對論者ハ郡ノ發達ノ爲ニ町村ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトハ無イ筈デアル、其證據ニハ即チ郡費ノ多イ所ハ町村費モ多イデハナイカト言ハレルノハ、主トシテ福岡縣ヲ例ニ取ツテ言ハレルノデアルガ、郡ノ發達デ見ルベキモノハ福岡縣デアル、然ルニ福岡縣ハ郡ノ區域ガ小サクシテ稍、此謂ハユル英國ノ郡ニ近イ爲ニ發達シテ居ルノデアル、併ナガラ郡ノ事業ノ進ムホド割合ニ町村ノ事業ハ進ンデ居ラヌ、併シ町村費モ郡費モ他ノ縣ヨリハ多イヤウデアリマス、抑、福岡縣ト云フノハ如何ナル土地デアリ如何ナル縣デアルト云フコトヲ御承知アツテノ御論デアリマスカ、ソレヲ承ツテ見タイト思ヒマス、福岡縣ハ日本唯一ノ石炭ヲ出ル所デアル、是ホド富裕ナ所ハナイ、一縣ニシテ數縣ニ勝ルホドノ富有ッテ居ル頗ル盛ナル所デアル、斯ノ如キ縣ヲ例ニ取りマシテモ、是ハ即チ郡費ガ多イト共ニ町村費モ多ケレバ縣費モ矢張り多イノデアル、福岡縣ノ縣費ヲ他ノ縣ニ比ベテ見レバ非常ニ多イモノデアル、要スルニ是ハ金持ノ縣デアルト云フコトデアル、金持ノ家デ例ヘバ米ノ代價ハ石炭、油ニ依ツテ分ル、石炭、油ヲ多ク焚クナラバ米モ澤山ニ食フニ違ヒナイト云フ譯デ、決シテ座敷デ奢ッタカラト云ツテ臺所ガ害サレト云フコトハ少イ、是ハ決シテ例ニナラヌノデアル、要スルニ同ジク人民ノ負擔カラ出ル金ヲ以テ諸般ノ事ヲ經營スレバ、甲ニ厚ケレバ乙ニ薄クナルト云フコトハ免レヌノデアリマスカ、ソレハ少シモ御議論ノ根據ニハナラヌト思ヒマス、又一木君ノ御說ニハ惡ルウゴザイマシタ、政府ノ說ニ郡ニハ相當ノ事業ガ無イト云フコトデアルガ、組合組合ト云フモノガ多イ所ヲ見ルト、矢張り郡ニハ相當ノ事業ガ無イ、前段縷々述べマシタ通り組合ト云フモノヲ多ク設ケナケレバナラヌト云フコトガ自然ノ必要ニ依ツテ起ツテ來ルト云フコトハ一面、郡ニハ相當ノ事業ガ無イト云フコトヲ證明シタモノデアル、如何トナレバ事業ト云フモノハ唯今申シマス通り、河川、道路又ハ學校、衛生、勸業等ノ各種ガニノ區域ニ依ツテ一ツノ圓イ中トカ角ノ中トカ長イ區域ニ依ツテ律スベカラザル各種ノ事業ガ寄ツテ居リマスカ、到

底コレデハイカヌ、ソレカラ又一木君ノ御說ニソレノ事業ニハ相當ノ區域ガアル、即チ自治制ノ精神、自治制ノ主トスル所ハ各其方面ノ人民ガ自カラソレヲ經營シテ、而シテ事ノ巧拙、其事ノ正邪ハ直ニ各自ノ利害ニ關係スルト云フ所カラシテ其事ヲ親切ニスルノデアル、ソレヲ縣ニ任カスト云フコトハ甚ダ宜クナイト云フ御說デアリマスカ、如何ニモ其通り、サウナケレバナラヌ、サウナケレバナラヌノデアリマスカ、郡ト云フモノハ前來申シタ如クニ、ドウシテモ各自人民ノ頭ニ直接ニカカルト云フ譯ニハイカヌ、或ル事業ハ山ノ方ノ人間ニ宜クッテ川ノ方ノ人間ニ惡ルイ、或ル事業ハ北端ノ人間ニ宜クッテ南端ノ人間ニ宜クナイト云フノデアリマスカ、到底一木君ノ議論ハ郡ト云フ區畫ニハ當嵌マラヌコトデアル、又此郡ガアルガ爲メニ組合ヲ減ズルコトガ出來テ居ルト云フコトデアリマスガ併シ私ハ之ヲ信ジナイ、今日郡制ヲ布イテモ、郡制制定前ノ組合ノ數ハ少シモ變テ居ラヌ、組合ノ數ニ付イテハ色ミ數字ガ變テ居リマスカラシテ、私ハチヨットドレガ本當ノ數ト云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、重モニ二千何箇ト云フノガ多イヤウデアリマスカ、内務大臣ガ委員會デ答ヘラレタノデハ總計四千六百ニナル、内務次官カラ答ヘラレタノデハ六千何百ト云フ數ニナル、此數ノ孰レガ事實デアルカ知レマセヌ、而シテ郡ヲ廢シテ町村ノ組合ニ任セタナラバドノ位ノ數ガ増スカト云フコトニ對シテ内務大臣ノ答ニハ凡ソ二百増スト云フコトデアル、而シテ内務次官ノ答ハ郡ノ半數ト思ヘバ大抵間違ナイ、サウシテ見レバ郡ノ半數ハ二百ヨリハ少シ多クナルカラ二百六十バカリニナリマセウガ、其何千ト云フ四千ニシテモ六千ニシテモ又二千ニシテモ大シタ組合ノ數ガアル、大シタ數ガアルノニ二百ヤ三百組合ガ殖エタカラト云ウテモサウ大聲ヲ揚ゲテ言フダケノコトハナイ、之ニ付イテハ面白イ話ガアル、昔耶蘇教ガ這入ッテ來タトキニ日本ノ各宗ノ僧侶ガ集マツテ二代將軍秀忠公ニ訴願ヲシタ、耶蘇ガ這入ッテ來テハ宗教界ニ混雜ヲ生ジテ困ルカラシテ、ドウカ耶蘇教ノ御禁制ヲ願ヒマスト言ウタ所ガ、將軍家ハ今、日本ニ於テ幾ツノ宗教ガアルカト問ハレタ所ガ、九宗ゴザイマスト答ヘタ、九宗アル所ニ一宗殖エテ十宗ニナツタガ爲ニ、ソレホド混雜ハシマイト云フノデ聞届ケナカッタト云フ話ガアル、ソレト丁度同ジコトデ、何千ト云フ中ニ二三百ノ組合ガ殖エタカラト云ウテ、サウ大聲ヲ揚ゲテ反對ヲスルダケノ理由ニハナラナイ、而シテ此組合ナルモノハ非常ナ混雜ヲ起スト云フコトニ付イテ重キヲ置カレテ居リマスケレドモ、

實際ハソレ程ノコトデハ無いノデアル、今日日本ニ何千ト云フ組合ガアッテ組合ノ爲ニヒドク困ルト云フ、成ルホド随分困ルトモアリマス、アリマスケレドモ、困ル困ラヌト云フコトハ重モ各個人ノ頭ニ如何ニ感ズルカト云フコトヲ標準ニシナケレバナラヌ、行政官ガ非常ニ厄介デアルトカ、縣廳デ以テ非常ニ厄介デアル、郡役所デ世話ガ焼ケテ仕方ガ無いト云フコトヲ以テハ、決シテ困ルト云フ理由ニハナラヌ、郡役所ナリ縣廳ナリハソレ等ノ事ヲ處理スルノガ職分デアリマス、町村ノ間ニ多少紛紜ガアルカ知ラヌガ、要スルニ自治體ノ各個人ノ頭ニハ、男女老若ニハ如何ナル迷惑ヲ掛ケルカト云フコトヲ標準ニシテ考ヘナケレバ、政治ノ事ハ談ズル譯ニイカヌノデアル、組合ノ多イ爲ニドコソコノ細君ガドレ位非迷惑ヲシタ、ドコソコノオヤデガ、ドレ位非困ルカト云フコトヲ考ヘルト何デモナイ、私モ暫ク英國ニ居リマシタガ、英國ホド地方自治ノ混雜シタ所ハナイ、即チ一人ニシテ十八種ノ稅ヲ拂フト云フコトニナツテ居ル、成ルホド「ランブ」ノ稅ガアリ、水道ノ稅ガアリ、貧民救助ノ稅モアル、書付ヲ見ルト實ニ驚ク、驚キマスケレドモ英國ハ殆ド何所ニ政府ガアルト云フコトハ住ンデ居ル人ニ分ラナイト云フ位非政府カラ厄介ヲ掛ケテ居ナイ、唯デットシテ居サヘスレバ地方行政ト云フコトハ人民ニハ何等ノ面倒ヲ掛ケナイト云フ誠ニ安樂ナ所デアアル、殆ド郡役所モ無ケレバ町村役場モ無いカノ如キ感ジヲ爲シテ居ルト云フコトハ、是ハ組合ノ多イノハ各個人ノ頭ニハ何等ノ迷惑ヲ掛ケナイト云フコトノ確カナ證據デアリマス、而シテ此組合ヲ：同ジク組合ガアルニシテモ三階級ノ中デ組合ノ續々トアルノト、二階級ト云フ全體ノ制度ヲ簡易ニシテ而シテ組合ノアルノトデハ、又非常ナ違ヒガアルコトデアラウト思ハレル、而シテ又一木君ハ彼ノ各府縣ニ組合ノ多少ガアル、或ル縣ニハ多クノ組合ガアリ、或ル縣ニハ誠ニ組合ガ少イ、是ハ郡制ヲ制定シタ御蔭デアアルト云フヤウナ意味ノコトヲ言ハレマシタガ、私ハ甚ダ疑フノデアル、若シ郡制ナルモノハ各府縣皆共通シテ設ケラレタモノデアルカラ、郡制ニシテ組合ヲ減ジ得ルト云フナラバ、甲縣ニ多クシテ乙縣ニ少イト云フ等差ノ起ル譯ハ無い、是ハ全ク各府縣ニ共通スル郡制ガ組合ノ多少ヲ起スト云フノハ、組合ノ必要ナ所ニハ郡制ガアッテモ組合ガ多クナリ、組合ノ必要ノ無い所ニハ郡制ガアッテモ組合ガ少イト云フモノデ郡制ハ何等ノ組合ノ増減ヲ行フコトノ出來ナイ確證デアアル、而シテ政府ハ郡ヲ廢スルガ爲ニ經費ヲ減ズルコト三十萬圓デアルト言ハレマシタガ、是ハ誠

ニ何デモナイ事デアアル、私ハ此三十萬圓減ラウガ、三十萬圓増サウガ、ソレ等ノ事ニハ少シモ頓著シナイ、三十萬圓ガ三百萬圓ト云フナラバ一錢デモ少イノガ宜イ、少イノガ宜イケレドモ、此大切ナル地方ノ行政、又自治體ヲ確實ニシテ之ニ成功ヲ爲サシメヤウト云フ爲ニ理事者ヲ設ケタ爲ニ少シノ金ガ要ル、又會議ヲ設ケルガ爲ニ會議費ガ要ルナドト云フヤウナコトハ、大體ヲ大觀シタトキニハ誠ニ些少ナコトデアアル、是等ハ何等郡制ノ存廢ヲ左右スル所ノ理由ニハナラヌコトデアッテ、是ハ一木君ト雖モ必ズ御同感デアラウト思フ、而シテ一木君又曰ク、中間ノ區域ヲ全ク廢絶スルト云フコトハ大ニ郡其モノト同時ニ有望ナ事業ヲ頓挫セシムルト云フコトデアリマスケレドモ、矢張り組合ヲ以テ今日現ニ續々事業ヲヤリツ、アル、郡廢止ノ後モ同ジク組合デヤルナラバ決シテ郡ノ爲ニ事業ノ廢サレルト云フコトハナイ、若シ郡ノ爲ニ事業ガ起リ郡ノ無クナルガ爲ニ事業ガ無クナルト云フコトナラバ、今日ノ事業ハ總テ郡ニ依ッテ制セラレヌケレバナラヌモノガ少シモ郡ニ依ッテ事業ヲヤッテイカナイ、郡ヲ嫌ッテ仕樣ガナイ、郡カラ遠ザカラウ遠ザカラウト、自分ノ自然の方針ヲ執ラウト云フコトニ歸シテ居ッテ、小シモ枯木ノ郡ノ周圍ニハ事業ガ集マッテ行カヌ所ヲ見レバ、郡制ヲ廢シテモ實際ノ事業ニハ何等ノ痛痒ヲ感ゼシメナイ、ソレカラ私ハ終リニ臨ンデ一言申シタイノハ、若シ一木君ノ言ハルル如ク、郡制ノ廢止ナルコトガ實際地方人民ニ非常ナル苦痛ヲ與ヘ非常ナル憂慮ヲ懷カシムルト云フコトナラバ續々此地方ノ各團體ニ於テ郡會ハ勿論ノコト、府縣會ニ於テモ町村會ニ於テモ、又地方有志ノ會議ニ於テモ、郡廢スベカラズト云フ決議ヲシテ當局者或ハ上下兩院ニ之ヲ訴願スルト云フコトノ舉ニ出デザルベカラザル等デアラウト思フケレドモ、何等ソレ等ノコトハ無いノデス、例ヘバ當局者ニ聽イタ所ガ少シモ無い、或ハ當局者ハ自分ノ案ヲ保護スルガ爲ニ詐リヲ：詐リト云ウテハ甚ダ惡ルイガ、有ルコトヲ無いト言ハレルカモ知レナイ、ケレドモ私ハ現ニ貴族院ニ於テ請願委員ノ一人ニナツテ居ルケレドモ、様々ナ請願ハ日ノ如ク集マルガ、郡ヲ廢シテ吳レテハ困ルト云フ請願ハ今日マデ一ツモ受理シタコトハ無い、一ツモ無い、郡ヲ存置シナケレバナラヌ、之ヲ廢サレルト云フト大ニ國家ノ休戚ニ關スルトカ地方人民ガ大ニ利害ヲ感ズルトカ痛苦ヲ覺エルトカ憂慮ヲ爲ストカ云フコトヲ言ッテ來タ者ハ今日、唯ノ一人モ有リハシナイト云フノハ、郡制廢止反對ハ國民ノ聲デ無いト云フコトノ確カナハ證據デアアル、全ク郡制

ヲ御取調ニナタ人、郡制ヲ又之ヲ自分デ一ツ育テテ見ヤウト言ウタ諸君ガ、或ハ自分ノ植エタ木ノ枯レルト云フコト、枯レルデナイ、殊ニ之ヲ伐ラレルト云フコトハ或ハ大ニ憂フルカモ知レヌ、之ニ向ッテハ私ハ反對者デアリナガラ大ニ御同感ヲ表スルノデアリマス、ケレドモ、肝腎此郡制ノ目的ハ決シテ郡制ヲ翻譯スル人ヲ娛マシムル爲ニ拵ヘタモノデナイ、地方ノ人民ノ國利民福ヲ進ムル爲ニ拵ヘタ、其國利民福ヲ進メツアル人民ガ此大事ノ大事ノ郡制ヲ廢サレハ困ルト云フコトヲ今日、議會ニ一人モ言ッテ來ナイト云フノハ、是レ即チ國民ノ聲デ無イト云フ確カナ證據デアリマス、サウシテ見ルト云フト私ハ一木君ガ政府ニ向ッテ言ハレル言葉ヲ假リマシテ、何ト一木君ガ仰シヤタ、政府ハ斯ノ如ク行政ノ敏活簡易ト云フコトノ點ニ心ヲ用弗テ自治制ト云フコトニ重キヲ置カスト云フガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル、ドウゾ政府ハ此自治ノ涵養、自治心ノ涵養ト云フコトヲ重ンジテ單純ナル行政區畫ヲ簡易ニナサムナドト云フ形式ノコトハ、ソレホド顧ミルニ及バヌコトデアル、斯ウ云フコトヲ政府ニ向ッテ忠言スルト云フ仰セデアリマス、私ハ一木君ニ向ッテ同様ノ言葉ヲ假リテ忠言ヲスル、斯ノ如キ生命モ無ク、血液モ無ク、肉モ無ク、即チ名稱ダケ自治ト云フ名ヲ帶ビテ居ル此郡制ヲ獨逸ノ如ク三階級ニスルト云フ、斯様ナル形式ノコトニ心ヲ用弗シテ、ドウカ此實際ノ自治心ヲ養ヒ、實際ノ自治制ト云フモノヲ確實ニナサムコトニ御盡力アラムコトヲ希望スル、即チ此該博ナル所ノ知識ヲ有シ、又實地ニ於テ大ニ經驗ヲ積マレタル所ノ人ミガ、斯ノ如キ形式ノコト、斯ノ如キ精神ノ無イ所ノ階級ノ保存ニ努メラルルコトヨリモ、ドウカ此全體ノ國民ノ自治心ヲ養ウテ自治制度ノ鞏固ニ有望ナル發達ヲ爲サムコトニ精神ヲ注ガル、コトヲ私ハ望ムノデアリマス、即チ私ハ此一木君ガ縷々數萬言ヲ述ベラレタニモ拘ラズ、ソレニハ同意ヲ表スルコトガ出來ナイト云フコトハ頗ル遺憾ニ思フ所デアリマスルガ、即チ此形式ヲ後ニシテ自治ノ精神ヲ涵養シ、自治ノ制度ヲ確實ニシテ有望ノ發達ヲ爲サシムルト云フ、即チ此日本ノ憲政發達ト云フコトノ上ニ於テモ最モ肝要ナコトデアリ、又民間ニ於テ鄰保相助ケ鄉黨相親ム所ノ即チ風俗敦厚ナルコトヲ養ウテ益、自治ノ組織ヲ完全ニ至ラシメムコトヲ希望スル點カラシテ、茲ニ私ノ鄙言ヲ述ベタ次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 暫ク休憩イタシマス

午後零時二十六分休憩

午後一時二十七分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○村田保君 本員ハ此場合ニ贊否ヲ決スル爲ニ內務大臣ニ質問ヲシタイノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○村田保君 本員ハ內務大臣ニ特ニ質問ヲ致シマスル、ソレト申シマスルモノハ本員ハ實ハ此問題ヲソレホド重要ナル問題ト思ッテ居リマセヌカラ、マダ贊否ヲ決シテ居リマセヌ、ソレデ諸君ノ御高説ヲ伺ヒ、又政府ニ質問シタ上デ贊否ヲ決シヤウト思ヒマスカラ、ドウゾ御面倒ナガラ、御答ヲ願ヒタイ、過日松平君カラシテ此郡制ヲ廢シタ上ニハ郡役所モ廢スルヤ否ヤト云フ質問ガ出マシタ時分ニ、內務大臣ハ郡制ハ廢シテモ郡役所ハ廢セヌト云フコトヲ御答ニナリマシタガ、本員ハ實ハ郡役所ヲ廢シタイト云フ者デアル、然ル所ガ此頃、衆議院ニ於キマシラモ矢張り郡役所ヲ廢スルヤウニト云フ建議ガ出テ居ルヤデアリマスガ、此建議ガ通過シマシテモ政府ハ矢張り先日ノ御演説通り郡役所ハ御廢止ニナラヌコトデゴザイマセウカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ、內務大臣ハ郡制ヲ廢シテ、サウシテ此三階級ヲ二階級ニスルト云フコトデゴザイマスガ、成ルホド自治體ハ二階級ニナリマセウ、併ナガラ事實ハ矢張り私ドモ三階級ニナッテ居ルダラウト思フ、ト申シマスモノハ何事デモ町村役場ノモノハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ行カナクテハナラヌト云フコトニナリマスカラ、矢張り是ハ三階級ニナッテ居リマスルガ、サウ致シマスルト行政區ノ方ハ三階級ヲ御認メニナッテ、サウシテ自治體ダケヲ二階級ニナサル譯デゴザイマセウカ、ソレカラモウ一ツハ、此郡制ト云フモノハ此議會ニ是非トモ通過シナケレバナラヌト云フ御考デゴザイマスガ、之ヲ通過シナケレバ何カ行政上不都合ガアルヤ否ヤト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、本員ノ如キハ此次、或ハ明年マデ待ツコトガ出來ナイト云フ何カ理由デモイ、御理由デモアリマスナラ、其理由ヲ一ツ承リタイ、サウシテ先ヅ是ダケ承リマシタ上デ、本員ハ贊否ヲ決シヤウト思ヒマス

【國務大臣原敬君演壇ニ登ル】

○國務大臣(原敬君) 村田君ニ御答ヲ致シマスガ、第一ノ郡制ヲ廢シテモ郡役所ヲ廢サナイ云フコトハ既ニ明言イタシマシタ通りニ、政府ニ於テハ郡制

ヲ廢シテモ郡役所ハ全廢イタサスト云フ積リデアリマス、ソレハ既ニ述ベマシタ如ク、今日ノ一般國家ノ狀況ニ徴シマシテ郡役所ヲ全廢スルト云フコトハ行政上出來得ナイト考ヘマス、併ナガラ郡役所ノ數ヲ減ズルト云フコトハ出來得ルデアラウト考ヘマス、是ハ郡制實施前ニ當リマシテハ今日ノ如ク多數ノ郡役所ハゴザイマセヌ、約四十バカリ郡制ヲ實施イタシマシタ後ニ増加

テ、竝ニ委員會ニ於テ陳述イタシマシタケレドモ、尙ホ反對ノ諸君ノ御論ヲ承リマシタ上、政府ノ所信ヲ申上ゲヤウト考ヘテ居リマス、唯今ノ御質問ニ對シテハ唯ダ二點デアッタ記憶イタシテ居リマスルデ、是ダケ御答ヲ致シテ置キマス

イタシテ居リマス、此増加ノ分ヲ無論減ジマシタ所デ差支ナイト考ヘマス、且ツ今日ノ交通機關ノ發達其他ニ徴シマスレバ尙ホ郡制實施以前ヨリモ數ヲ減ジ得ルダラウト考ヘマスガ、果シテ幾許ノ數ヲ減ジ得ルカト云フコトハ、篤ト地方長官等ノ意見ヲ徴シマシテ、十分ニ審査ヲ致シマセヌケレバ幾許ノ數ヲ減ジ得ルカト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、數ハ減ジ得ルダラウト云フコトヲ茲ニ明言シテ憚ラスト考ヘマス、併ナガラ郡役所ヲ全廢イタサスト云フコトハ、今日ノ行政上ノ關係カラ見マシテモ、郡役所ニ委任シテ居ルコト、若クハ職權上爲シ得ル所ノ範圍ハ隨分多數ニ涉ッテ居リマスルシ、又人民ノ便否ヲ考ヘマシテモ全廢イタサスト云フコトハ今日ノ事態ニ於テ出來得ナイト考ヘマス、故ニ郡役所ノ全廢論ハ多少アリマスルケレドモ、政府ニ於テハ全廢ハ

○村田保君 本員ハモウ少シ伺ヒタイ、唯今既ニ内務大臣ガ言ハレマシタガ、此不用ナル郡制ヲ廢スルコトハ必要ダト云フコトデゴザイマスガ、此不用ナル法律ヲ抑、此政府ガ出シテ我々モ即チ其不用ナル法律ヲ良イト認メテ此貴族院モ可決シテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウモ我々モ十分責任ガ有ルダラウト思フ、ソレデ其不用デ以テ廢スルト云フコトハ、甚ダ分リマセヌ、本員ガ御尋ネ申シタノハサウデハナイ、此郡制ヲ廢サナケレバ國家ニ是ダケノ不利益ガアル、人民ニ害ガアル、此法律ハ是ダケ害ヲ爲スト云フヤウナコトガアリマスカ否ヤト云フコトヲ伺ヒマシタ、本員ハ其不用ナリト云フコトヲ伺タノデアアナイ

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣〔原敬君〕 唯今ノ御質問ハ結局、郡制廢止案ノ理由ヲ説明イタシマスレバ御了解ヲ得ルダラウト考ヘマス

〔村田保君〕害ニナルト云フコトヲ伺ヒタイ、之ヲ置ケバドンナ害ガアルト云フコトヲ……〔ト述ブ〕

ハ決シテ私が初メテ斯様ナルコトヲ思ヒ付イタノデハゴザイマセヌ、郡制廢止ト云フコトハ屢、政府ニ於テモ民間ニ於テモ問題トナッテ居タ事柄デアリマス、而シテ昨年ニ於キマシテ郡制廢止案ヲ提出イタシタノデアリマス、不幸ニシテ其決議ヲ見ルコトガ出來マセヌデアリマシタケレドモ、既ニ昨年ニ於テ提出イタシ、又今年ニ於テ尙ホ其必要ヲ認メマシテ提出イタシマシタ次第デアリマス、固ヨリ國家ノ斯様ナル制度ニ至リマシテハ多少ノ歲月ヲ爭フ問題デハ無論アリマセヌ、併ナガラ隨分長キ間、研究サレテ居ル問題ト考ヘマス、故ニ今日ハ市町村制ニ向ッテモ改正ヲ致スコトニ考ヘマシテ既ニ議案ヲ提出イタシテ居ル次第デアリマス、故ニ此市町村制ヲ改正イタサスト同時ニ不用ナル所ノ郡制ヲ廢スルト云フコトハ、最モ國家ノ今日急ニ應ズルコトト政府ハ信ジテ居リマス、故ニ願ハクバ今日ニ於テ此郡制ヲ廢止イタシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、唯今ノ御質問ニ對シテハ是ダケ御答ヲ致シテ置キマス、尙ホ郡制ヲ廢サナケレバナラヌ理由ニ付キマシテハ既ニ此議場ニ於

害ニナルト云フコトハ、ソレヲ丁度政府ノ意見トシテ陳述イタサウト考ヘテ居リマシタガ、偶、御質問ガアリマスカラ申上ゲマス、元來此地方制度ヲ三階級置キマシタト云フコトハ、如何ナル理由ニ基キマシタヤラ甚ダ不明デアリマスルガ、人々多ク傳ヘマスル所ニ依レバ、外國ノ制度ヲ模倣イタシタコトデアルト承リマス、固ヨリ外國ノ制度ノ長ヲ採リ短ヲ補フハ、數年來採リマシタ所ノ政府ノ方針デアリマシテ、差支ナイコトデアリマスケレドモ、併シ抑、日本ニ於キマシテハ町村ト府縣ト申スモノハ長イ間ノ歴史ヲ有ッテ居ルコトデアリマス、即チ府縣ノ府縣會規則ト申スヤウナコトハ、タシカ明治十一年ニ發布サレテ居ル、市町村ノコトニ關シテハ、明治十三年ノ發布ト記憶イタシマス、是等ノ時代ニ於キマシテハ確ニ二級制度デアリマス、府縣ト町村ノ外ハゴザリマセヌ、其後ニ至リマシテ明治二十三年ニ初メテ郡制ナルモノガ發布ニナリマシタ、此郡制ヲ制定セラルル當時ニ當リマシテハ、今日ヨリ書類ニ依ッテ徴シマスレバ元老院ニ於テモ隨分議論ガアリマシテ、論旨ガ種々ニ

別レテ居リマスルガ、要スルニ此郡制ヲ布クコトヲ不可ナリト云フ議論ガ多
カッタト認メマス、而シテ政府ハ一トタビ元老院ノ會議ニ郡制ヲ出シマシテ、
ソレ等ノ異論ノ爲ト思ハレマスルガ、撤回ヲ致シテ居リマス、故ニ此案ハ元
老院ヲ通過イタシテ居リマセヌ、ソレカラ實施イタシマシタ所ノ有様ハ漸次
ニ實施サレマシタカラ、悉ク同一ノ期間デハアリマセヌガ、古イモノハ十五
六年ニナリ、新シイモノハ七八年ノ年月ヲ經過イタシテ居リマス、其間ニ郡
制ハ如何ナルコトヲ爲シタデアラウカト、其沿革ヲ調べテ見マスルノニ、法
律ヲ以テ郡制ハ制定サレ發布サレマシタケレドモ、郡ノ自治體ニ於ケル所ノ
有様ヲ見マスルト、殆ド何等ノ效用ヲ見ナイト云フテ宜シカラウト思ヒマス、
是ハ色ミナル原因ガアリマス、古來、郡ニ於テ自治ヲ致シタ所ノ要素ガ甚ダ
乏シイコトガ最モ重大ナル理由ト認メマス、ト申シマスルノハ府縣制ニ致シ
マシテモ、町村制ニ致シマシテモ、發布セララルル當時ニ於テ、既ニ其自治ノ
形ヲ成シテ居リマシタガ故ニ、法律ニ依ッテ尙ホ其制度ノ發達ヲ致シ、自治
ノ要素ノアル所ニ法律ヲ以テ規定サレマシタカラ、尙ホ其發達ガ著シク見エ
ルト云フ形デアリマスルガ、郡制ニ至リマシテハ無キ所ノ郡制ヲ法律ヲ以テ
作ラレタト云フ形デアリマスルガ、何等見ルベキモノハゴザイマセヌ、郡制
ヲ實施サレタ初メノミナラズ、今日ニ至リマシテモ殆ド郡會ノ會議ナドト申
スモノハ自治ノ有様ヲ具ヘテ居ラヌ所ガアリマス、甚シキニ至リマシテハ一
度形式的ニ郡會ヲ開キマシテモ、殆ド郡參事會ニ委任イタシテ何等ノ事モ致
シマセヌ、即チ郡會ヲ開カスト云フテ宜イノデアリマス、斯様ナ地方スラアリ
マス、又偶、郡會ヲ開イテ居ル所ニ至リマシテモ、舊ニ制度ヲ初メテ布イタ
時ノミナラズ今日ニ於キマシテモ其會議ノ費用ヲ議シ、會議ノ費用以外ニハ
補助費ヲ議スルト云フ位ニ止マル所ガ多イノデアリマス、郡制ナルモノハ何
等ノ效用モ爲シテ居ラヌト云フ實蹟ヲ舉ゲマスレバ多クアリマス、是ハ委員
會ニ於テ委シク陳述イタシマシタカラ御了解ヲ得テ居ルダラウト思ヒマス、
又偶、郡制、郡ノ自治ガ發達シテ居ル如キ外觀ヲ具ヘテ居ルノハドウカト云フ
ト、是ハ眞ニ外觀ノミニシテ其實、郡ガ發達シテ居ルノデナイト云フ場所モ
多ク見受ケマスルガ、加之コノ郡ノ仕事ガ町村デ當然爲シテ宜シキ所ノ仕事
ヲ郡デ致シテ居ル、故ニ私ドモハ郡事業ノ偶、發達シテ居ル如キ外觀アル所
ハ町村ノ發達ヲ害シテ居ルト認メテ居リマス、先刻一木君ノ御說中ニ郡制ノ
發達シテ居ル所ハ町村モ亦發達シテ居ルト云フ御說デアリマス、是ハ委員會

ニ於テモ一木君ハ左様ニ述ベラレテ居リマス、其例トシテ現ニ福岡縣ノ如キ
ハ郡ハ發達シテ居ル、然ルニ町村ノ發達ヲ害シテ居ラヌ、町村モ相當ニ發達
シテ居ル、其證據ハ郡デモ大層ナ費用ヲ使ッテ居ルガ、町村モ亦著シキ費用デ
アルト、左様ナル御說デアリマシタカラ、委員會ニ於テハ單ニ費用ノ多少ヲ
以テ何レガ發達シテ居ルト云フコトヲ認ムルコトハ出來ヌノデアアル、如何ナ
ル仕事ヲシテ居ルカト云フコトガ問題デアアルガ、町村ハ福岡ノ如キニ致シマ
シテモ殆ド見ルベキノ仕事ヲ致シテ居ラヌノデ、郡獨リ種々ノ經營ヲ致シマ
シテ居ルガ故ニ、町村ノ發達ヲ妨ゲル、費用ノ一點ニ至リマシテハ成ルホド
福岡縣ノ如キ地方ノ進歩イタシテ居ル所、近來著シク富ノ度モ増シマシタ地
方ニ於テハ、費用ハ多ク使ッテ居リマス、併ナガラ福岡縣ノ如キハ町村ハ如何
ナル有様デアアルカト申セバ、御承知ノ通り大牟田ノ如キ、若松ノ如キ、枝光
ノ如キ、各地ノ町ト申スモノモ隨分他ノ市ニ比スベキ所ノ有様ヲ持ッテ居ル
ノデス、其一例ヲ申シマスレバ現ニ大牟田ノ町長ト申スガ如キ者ハ千二百圓
ノ俸給ヲ取ッテ居ルト云フコトデアリマス、他ノ市ニ於テ千二百圓ノ俸給ヲ
取ッテ居ル市長ノアル所ハ餘ホド大キナ市デアリマス、併シ大牟田ノ如キ町
デアリマスルケレドモ、町長ガ斯ノ如キ俸給ヲ得テ居ルト云フヤウナコトデ
アリマスカラ、町村ノ費用ヲ合併シテ其額ガ相當ニ上ボッテ居ルガ故ニ、町村
ガ發達シテ居ルト云フヤウナ御議論ニハ御同意ハ出來ヌノデアリマス、要ス
ルニ今日ノ町村ナルモノハ概シテ未ダ十分ノ發達ヲ致シテ居ラヌノデアリマ
ス、故ニ國家ノ進運ニ促サレ、事物ノ進歩ニ應ジマシテ、段々町村ハ合併セ
ラレテ居ル、町村ガ合併イタシテ町村ノ大キクナルト云フコトハ自然ノ趨勢
デアリマス、町村ガ合併イタシテ多少大キクナリマセヌケレバ、町村ノ事業
ヲ爲スコトガ甚ダ困難デアリマス、故ニ町村ナルモノハ漸次大キクナリマス、
尤モ町村制實施ノ當時ニ當リマシテハ、隨分當時ハ非常ナル斷行ヲ致シタノ
デアリマス、殆ド七萬バカリノ町村ヲ三百乃至五百ノ戶數ヲ目的ト致シマシ
テ、一萬有餘ニ減ジテ居リマス、七萬ヨリ一萬ハ隨分非常ナル斷行デアッタ
ト認メテ宜シカラウト思ヒマスガ、其以後ニ至リマシテハ漸次ニ町村ハ合併
セラレテ、漸次ニ町村ハ大キクナッテ參ルノデアリマス、是ハ據ロナイ、一般
ノ進歩ニ促サレテ斯ノ如キ結果ヲ見ルト考ヘマスルガ故ニ、成ルベク町村ハ
合併セラレテ大キクナルコトヲ希望イタスノデアリマス、而シテ町村ハ漸次
合併セラレテ、其事業ノ見ルベキモノモアルヤウニナルニ從ッテ中間ニ於ケ

ル所ノ郡ナルモノハ愈々其必要ヲ認メナクナル、此趨勢ニ鑑ミマシテ、今日ニ於テ中間ニ於ケル郡制ヲ取ルト云フコトハ必要デアリマス、サウシテ二級制度ニシテ地方制度ノ簡易ヲ期スルト云フコトハ當然ノ事業デハアルマイカト考ヘルノデアリマス、即チ此郡制ガ存在イタスガ爲ニ地方ニ何等ノ效果ヲ見ルコトヲ得ズシテ、偶々仕事ヲ爲シテ居ルガ如キ發達ノ外觀ヲ備ヘテ居ル所ハ、町村ノ進歩ヲ害スルト云フ如キ有様デアル以上ハ、此制度ヲ存在スル必要ハ認メナイノデアリマス、此中間ニ於ケル所ノ元ト人爲的ニ出來マシタ所ノ郡制ヲ除キマシテ、自然ノ沿革ヲ有シ居ル所ノ町村ヲ益々發達セシメルト云フコトガ當然ノ仕事デハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ郡制ヲ廢止スルト云フコトハ地方事務ノ刷新ノ一部デアリマシテ、私ハ初メニ郡制ヲ制定スル折ニ、郡制ガ制定セラルベク斯クノ利益アリト致シマシタ豫期ニ反シテ居ル結果ヲ見マシタ以上ハ、此郡制ヲ制定イタシタト云フコトハ、當時ノ反對論ハ適當ナルコトデアッテ、少シク日本ノ國情ニハ適セヌ制度デアッタト考ヘマスルガ故ニ、之ヲ今日ニ廢スルト云フコトハ當然デアラウ、一木君ナドノ御説ニ從ヒマスレバ、當時反對論ハ即チ當時ノ有様ヲ變更シテ郡制ヲ布クト云フコトニ反對デアッタ、然ラバ今日既ニ郡制ガ存在シテ居ルガ、之ヲ變ヘルト云フコトニモ、ソレ等ノ人々ハ反對セザルヲ得ヌノデアアル、ト云フ御説デアリマスケレドモ、初メニ其制度ヲ布キマシテ不可ナルコトヲ見テ改正スルト云フコトハ獨リ郡制ニ限りマセヌ、何レノ制度ニ於テモ斯ノ如キ有様ヲ以テ改廢セラレテ居ル、既ニ郡制不可ナリト認メマシタ以上ハ今日ニ之ヲ廢スルトハ決シテ輕卒ナルコトデハナカラウト考ヘマス、且又地方制度デアリマスカラ、地方ニ大影響ヲ有スル問題デアルト云フコトヲ屢々反對ノ諸君ハ言ハレマシタガ、其通りデアリマス、併ナガラ今日世間ヲ見渡シタ所デ、何等ノ郡制ヲ廢スルト云フコトニ反對ノ説ヲ政府ニ於テハ見マセヌノデアリマス、加之、前々任者兒玉男爵ガ内務大臣デ居ラレマシタトキニ、地方長官ノ意見ヲ徵シマシテモ、僅ニ五六人ヲ除クノ外ハ郡制ヲ必要ト認メナイ、之ヲ廢スルハ宜シイト云フ意見ヲ提出イタシテ居リマス、又其後郡制ハ廢シヤウト考ヘルガ、意見アル者ハ申セト言ヒマシタトキニモ、一二ノ人ヲ除クノ外ハ之ニ對シテ郡制ヲ存在スルガ宜シイト云フコトヲ申シタ地方官ハアリマセヌ、又昨年二十二議會ニ提出イタシマシテ、議了ニ至ラズシテ經過シマシタガ故ニ、政府ハ此所信ヲ貫キタイト考ヘマシテ、併

ナガラ一トタビ布カレタ所ノ郡制デアリマスルガ故ニ、之ヲ廢シタ後ノ跡處分ガ非常ニ地方ニ影響ヲ及ボスヤ否ヤ、如何ナル處分ガ適當デアルヤ否ヤニ付イテハ、實際ノ事物ニ付イテ調査イタシマセヌケレバナラヌカラ、地方官ニ向ッテ悉ク意見ヲ徵シマシタ所ガ、地方官ハソレノ意見ヲ出シマシタ、此意見ハ固ヨリ皆其儘ニ行フコトハ出來マセヌ、何レ地方官ヲ集メテ協議イタサナケレバナラヌ、又法律ニ示シマスル如ク府縣參事會ノ意見モ承ラナケレバ確定イタサヌノデアリマス、併ナガラ學校ニシテモ、勸業ニシテモ、衛生ニシテモ、總テ今日、郡ガ致シテ居ル事業デ郡制ヲ廢シマシタ所デ何等ノ影響ヲ見ナイノデアリマス、其必要ナル事ハ無論、府縣デ經營イタスモノモアリマセウ、又町村組合ヲ以テ經營イタシテ宜イモノモアリマス、其組合モ大變増加イタシテ却ッテ地方ノ複雜ヲ醸シハシナイカト云フ御説モアリマスケレドモ、是ハ委員會ニ於テ述ベマシタ通り地方官ノ意見ニ基イテ考ヘマスレバ、二百乃至三百ヲ超サヌノデアリマス、組合ノ數ガ郡制廢止ノ結果ニ依ッテ増加イタスノハ、ソレ斯拉今日廢止シタル當座ニ於テデ、今日存在シテ居ル所ノ營造物、若クハ財産ニ付イテ差向キ設ケナケレバナラヌ所ノ組合數デアリマシテ、此組合モ永久ニ斯ノ如キ數ヲ存在イタスベキモノトハ認メマセヌ、又郡役所廢止等ニ關シテ色々御議論モアリマシタケレドモ、是ハ既ニ御答イタシタ通り今日ハ政府ハ全廢イタス考ハ持ッテ居リマセヌ、又衆議院ニ於ケル所ニ付イテ云々ト云フ御説モアリマスケレドモ、衆議院ハ衆議院ノ見ル所ヲ以テ致スノデアリマセウ、政府ノ所信ニ於テハ郡役所ヲ全廢スルガ如キ考ハ持ッテ居リマセヌノデ、遠キ未來ハ如何様ナル事ガアルカハ私ドモノ保證スル限リデハゴザイマセヌ、又郡役所ヲ全ク必要ト見ナイト云フ時機ニ達シマシタナラバ、或ハ之ヲ廢スルト云フ人モアルカモ知レマセヌ、ソレハ社會ノ進歩ニ應ズル外ハアリマセヌカラ、獨リ郡役所ニ限りマセヌ、總テ斯ノ如キ有様デアルト思ヒマスカラ、ソレニ付イテ彼は私ハ申シマセヌガ、政府ノ見ル所デハ近キ將來ニ於テ如何ナル議論ガアリマシテモ、郡役所ヲ全廢スルト云フガ如キハ何人ト雖モ出來得ナイモノト確信イタシテ居リマス、故ニ衆議院ニ於テハ郡役所廢止論者モアリマスルガ、郡制廢止案ニ對シテノ反對説トシテハ甚ダ薄弱ナル論デアリマス、即チ反對論者中ニハ議論ガ區々ニ別レテ居ル、或ル者ハ郡役所ヲ全廢スル前提デナイガ故ニ郡制廢止案ニ反對スルト申シマス、或ル者ハ郡役所廢止ノ前提デアルガ故ニ郡制廢止案ニ反對スルト

申シマス、等シク反對デアリマスグレドモ其理由區々ニシテ私ドモガ之ニ同意ヲ致スコトハ出來ヌノデアリマス、今日政府ノ見ル所ニ致シマシテモ、衆議院ノ多數ガ決定イタシマシタ所デモ、郡制ヲ廢止シテ郡役所ヲ全廢スルト云フコトハ、衆議院ニ於テモ認メテ居ラヌト考ヘテ居リマス、建議案ノ如キハ如何ナル處置ニ相成ルカ、今日豫言イタスコトハ政府トシテ出來マセヌノデアリマス、衆議院ノ有様ハ先刻一木ヨリ申述ベラレマシタ故ニ、序デナガラ辯ジテ置ク次第デアリマス、要スルニ苟モ制度ノ不可ナルコトヲ見、又十幾年間ノ實驗ニ徴シマシテ其效用ヲ見ズト云フコトデアル以上ハ、之ヲ今日ニ廢スルコトガ適當デアルト信ジマス、之ヲ廢シタナラバ害ガアル、斯クデアルト云フコトハ各見ル所デアリマス、併シ第一ニ町村ノ發達ハ之ガ爲ニ妨害サレル、又必要ナラザル所ノ費用ハ之ニ依ッテ増加スル、又其外ノ事ニ致シマシテハ既ニ委員會デモ陳述イタシマシタカラ、殊ニ茲ニ重ネテ諸君ヲ煩ハシテ陳述イタス必要ハアリマセヌ、而シテ之ヲ廢シマシタ所デ如何ナル不便ガアル、如何ナル害ガアルカト申シマスレバ、何等ノ害ヲ見ナイノデアリマス、故ニ弊害ノ有ルモノヲ除キ、而シテ害ヲ見ザル以上ニハ、今日廢止ヲ斷行スルノガ適當ノ處置デアラウカト考ヘルノガアリマス、尙ホ此事ニ付キマシテハ、ソレノ反對ノ御議論モアルト承リマス、委員會ニ於テモ反對ノ諸君ノ御議論モ承リマシタ、故ニソレニ付イテハ重ネテ申スコトガアラウトモ信ジマセヌ、唯今ノ御質問ニ對シテ少シク長キニ亘リマシタケレドモ、政府ノ見ル所ヲ述ベ置ク次第デアリマス

〔小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○小松原英太郎君 諸君、本員ハ本案ニ對シマシテ反對ノ意見ヲ述ベタイト存ジマス、先刻鎌田君カラ贊成ノ御意見ヲ御陳述ニナリマシタ、鎌田君ハ平素我々ノ尊敬スル博識ナル學者デアリマス、併ナガラ鎌田君ノ御演說中、色々御述ベニナツタ獨逸ノ歴史ト日本ノ郡ニ於ケル歴史ノ關係ニ付イテハ本員ハ推服スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、鎌田君ハ學者トシテ獨逸ノ歴史ナドハ能ク御承知デアアル筈ト存ジマシタガ、或ハスタインノ如キハフレデリック大王ノ宰相デアッタカラ、或ハ郡制モスタイン時代ニ出來タカノ如キ御演說モアッタ、是等ハ一々論ズルマデモナイコトデアリマスルガ、獨逸ノ自治、獨逸ノ町村ノ自治、郡ノ自治、地方自治制ニ付イテノ御演說ニ付イテハ甚ダ感服シナイ廉ガ多イ、又日本ノ歴史ニ付キマシテモ此郡制ノ施行、此郡ノ自

治體ト云フモノハ甚ダ輕率ニ之ヲ設ケテ恰モ形骸ノミヲ作ッテ血脈ノ無イヤウナモノデアアル、何モ無イ所ヘ持ッテ行ッテ唯ダ無理ニ人爲的ニ郡制ヲ作り、郡ノ自治ヲ與ヘタカノ如ク論ゼラレタヤウニ思ハレル、併ナガラ郡ノ自治ハ此日本ノ我が國ニ於ケル郡ハ諸君モ御承知ノ通りニ古來、古イ歴史ヲ持ッテ居ル、恰モ郡ハ自治ノ權利コソ與ヘテ無カッタデアリマスガ、其狀態ニ於テハ恰モ自治體ニ於ケル如キ狀態ヲ存シテ來テ居ルノデアリマス、多クハ風俗ヲ同ウシ、人情ヲ同ウシ、一郡ニ依ッテ人心ガ團結シテ居ル、是等ノ點ト云フモノハ委シク申スマデモナイ、諸君ニ於テ御承知ニナリ、御認メニナツテ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ郡制ヲ施行スル時分ニ、ドウ云フ狀態デアッタカト申セバ、成ルホド郡ニ於キマシテハ町村ニ於ケル町村會規則、府縣ニ於ケル府縣會規則ノ如キモノハ設ケテ無カッタ、從ッテ法律勅令ニ據ッテ府縣ニ於ケル事業ノ如キ、町村ニ於ケル學校其他ノ事業ノ如キ事業ハ持ッテ居ナイ、法律勅令ノ命ズル所ニ據ッテ郡ニ於テ爲スベキ事業ハ勿論持ッテ居ナカッタ、併ナガラ自然ノ必要ニ依リマシテ、此郡ノ團結ニ依ッテ自ラ郡ナリ總體ノ町村ガ聯合シテ、教育、勸業、土木、其他ノ事業ヲ經營シテ居ッタノデアリマス、郡制ヲ施行スル時分ニ當ッテ其當時ノ調ベニ據リマスルト、全國ニ於テ凡ソ三百九十ノ郡内總體ニ亘ル町村組合ト云フモノガアッタ、是ニ由ッテ觀マシテモ唯ダ人爲的ニ何ニモ無イ所ニ無理ニ郡制ヲ持ッテ行ッテ施行シタト云フ次第デハナイト云フコトハ明デアアル、古イ時分カラノ古來ノ沿革、古來ノ歷史上ノ沿革カラ論ジマシタナラバ、郡ハ寧ろ府縣ヨリハ歷史上ニ於テハ立派ナ沿革ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマス、併ナガラ是等ノ事ハサウ喋々論ズルニモ及バナイコトト存ジマスカラ、委シクハ申シマセヌ、唯ダ鎌田君ハ郡ガ若シ相當ノ自治體デアレバ自然ニ事業ガ出來サウナモノデアアル、發達スベキ筈デアアル、然ルニ郡ニ於テハ種々ノ事業ガ有ル、有ルガ、之ヲ郡ノ事業トセズシテ町村ノ事業トシテ居ル、即チ水利ノ如キ、衛生ノ如キ、學校ノ如キハ、多クハ町村組合デヤツテ居ル、即チ是ニ由ッテ觀テモ郡ノ自治ノ無用デアアル、適當シナイト云フコトガ分カルト云フ證據トシテ論ゼラレタヤウニ思フ、併ナガラ是ハ鎌田君モ御承知ノ通り學校ノ如キハ多クハ町村ノ事業ニナツテ居ル、小學校、高等小學校ノ如キ多クハ是ハ町村ノ事業デアアル、ソレカラ水利ノ如キハ水利組合條例ニ依ッテヤツテ居ル、衛生ノ如キ、避病院ノ如キハ、是ハ町村ノ事業ニナツテ居ル、町村デヤルベキ事業

ト云フコトニ決マツテ居ルノデアル、ソレ故ニ資力ノ十分ナル町村ニ於テハ之ヲ町村デ以テ經營ヲ致シ、一町村ノ力ニ能ハナイヤウナモノハ數村組合ッテ組合事業トシテ經營シテ居ルト云フコトデアル、ソレ故ニ此郡内ニ於ケル各種ノ事業、今日ハ多クハ組合ニ依ッテ經營イタシテ居ル所ノ事業ノ如キモ漸次之ガ整理ヲ計ルニ付イテハ或ハ郡ノ事業トシテ經營スルノガ適當デアリ、且ツ整理ガ付クト云フ種類ノモノモ往々アルデアラウ、ソレ等ハ漸次、郡ノ事業トシテ參ッテ宜イノデアリマス、假ニ是等ノ事業ハ別ト致シテモ、郡ノ事業ハ此贊成論者ガ言ハル如ク何ノ效用モ爲サナイ、何モシテ居ラナイト云フモノデハ決シテ無イノデアリマス、能ク各地方ニ就イテ各郡ノ事業ヲ御調査ニナツタナラバ分ラウト思フ、多クノ地方ニ於テハ郡々ニ於テ皆相應ナル事業ヲ爲シツツアル、決シテ何ノ效用ヲモ爲シテ居ナイト云フ次第デハ無イノデアリマス、唯ダ郡ナルモノハ郡ノ自治體ニ於テハ如何ナル仕事ヲスベキカト云フコトガ問題デアラウ、若シ郡ニ於テハ大事業ヲ爲サネバナラヌ、數十萬ノ經費ヲ投ジテ大キナ事業ヲ爲スベキモノデアルトシタナラバ一向何ノ見ルベキ仕事モシテ居ナイノデアル、併ナガラ本員等ハ郡自治體ナルモノハサウ大事業ヲ爲スベキモノトモ思ハナイノデアリマス、御承知ノ通り郡ハ府縣ト町村トノ中間ニ於ケル謂ハユル中間團體デアリマスカラ、府縣ノ事業トシテハ一局部ニ偏シ過ギル、町村ノ事業トシテハ町村ノ資力ニ適セナイ、サウ云フガ如キ一郡内ノ利害ニ關スル事業ヲ經營シテ行ケバ宜イノデアリマス、即チ土木、衛生、教育、其他ノ事業ニ付キマシテ、或ル種類ハ府縣ニ於テ之ヲ經營シ、ソレハ縣下全體ノ……縣下大部分ノ利害ニ關スル施設トシテ之ヲ經營スルナラバ府縣ニ於テ經營スル、又郡内ノ利害ニ關係スル事業トシテ經營スルナラバ均シク同一種類ノ學校若クハ程度ノ多少低イ學校、是等ノ學校ハ同ジ學校デアリマシテモ郡デ之ヲ經營スル、必シモ農林學校、若クハ農學校、甲種學校、其他各種ノ實業學校ノ如キ、是ハ府縣ニ於テ統一のニ經營シナケレバナラヌト云フコトハナイノデアリマス、無理ニ統一のニ之ヲ經營スルト云フコトニナレバ必ズ弊ヲ生ズルノデアリマス、ソレ故ニ府縣ニ於テ經營スベキモノハ府縣ニ於テ經營シ、郡ニ於テ適當ニ經營スベキモノハ郡ニ於テ經營シテ宜イノデアリマス、斯ノ如ク郡ト府縣ト比較イタシマスレバ、地域ノ大小、資力ノ厚薄ニ依リマシテ、自ラ郡ニ屬スル事業ヲ經營イタシテ行クノデアリマスカラ、サウ大事業ガアラウ筈ハ無イノデアリマス、

多クハ乙種農林學校、乙種農學校、是等ハ程度ノ低イ實業學校デアツテ、郡内ノ子弟ガ腰辨當デ銘々ノ家カラ學校ニ通ヒ、農業ノ知識ヲ進メ、農業ノ改良發達ヲ圖ル必要ナ知識ヲ授カツテ來ル、斯ウ云フノニ郡ノ經營ハ最モ適スルノデアリマス、或ハ農業ノ農事試驗場、又ハ水産講習所、若クハ試驗場ノ如キ、郡内ニ於テ適應ノ經營ヲ爲シ、郡民之ニ依ッテ大ニ便ヲ得、程度ハ低イガ郡内ノ人民、各種ノ人民知識ヲ進メ、之ニ依ッテ事業ノ進歩ヲ圖リ、幸福ヲ進メルコトガ出來ルナラバ最モ宜シイコトデアラウト考ヘルノデアリマス、必シモ非常ナル經費ヲ要スルニ及バナイ、ソレ故ニ郡ニ於テ見ルベキ事業ガ有ルカ無イカ、郡ハ何等ノ事業ヲモシテ居ナイ、或ハ何等ノ效用ヲモ爲シテ居ナイトカ、ドウトカ云フコトハ其見様ニ依ルノデアラウト考ヘマス、内務當局者トシテ地方ノ實況ニハ定メテ明デアルト云フコトハ申スマデモナイ、然ルニ各府縣ニ於ケル此郡經費ノ表ヲ見テ視マスルト郡經費トシテ一府縣内ノ郡ノ經費ガ五萬圓以下ノ所ハ僅ニ數府縣デアリマシテ、其他ハ多クハ七八萬圓以上、十萬圓以上ノ經費ヲ費ヤシテ居ル所ガ隨分アルノデアリマス、唯ダ金額カラ申セバ格別ナ金額デモナイ、ケレドモ此地方ニ於テ如何ナル事業ヲシテ居ルカト云フコトヲ仔細ニ調査イタシテ見マシタナラバ、隨分有益ナ相當ノ事業ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ本員等ハ今日、郡ニ於テ各地方ノ此郡自治體ノ事業ニ付キマシテ決シテ何等ノ效用ヲ爲シテ居ラス、斯ウ言ヒ得ベキコトデハナイダラウト信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ内務大臣ハ唯今村田君ノ質問ニ對シ此郡制廢止ニ付イテハ如何ナル弊害ガアツテ郡制ヲ廢スルヤト云フ質問ニ對シテハ、縷々御答辯ガゴザイマシタガ、如何ナル弊害アルヤト云フコトニ付イテハ、十分ナル御答辯ガ出來ザッタヤウニ思フ、唯ダ郡制ハ無用ナリ、不要ナリト云フコトノ御意見ヲ御述ベニナッタヤウニ思ハレマス、唯ダ弊害ト云フコトニ付イテハ例ヘバ福岡縣ノ如キ郡ノ事業ヲ多クスレバ町村ノ發達ヲ害スルト云フ位ノコトノ外ハ無カッタヤウニ思ハレマス、其他ハ郡制不要ナリト云フ御説明ノヤウニアル、然ルニ郡ノ事業ガ發達スレバ町村ノ事業ノ發達ヲ害スル、ト云フコトニ付キマシテハ福岡縣ガ最モ好イ例デアルノデアリマス、福岡ハ郡ノ事業トシテ三十九年度ノ經費ハ五十九萬餘圓ヲ費ヤシテ居ル、各郡ニ於テ土木其ノ他ノ事業ヲヤツテ居ル、然ルニ此事ニ付キマシテハ委員會ニ於テ質問イタシ、郡ノ事業ガ發達スル郡ニ於テ稍進歩スレバ町村ノ發達ヲ害スルト云フコトハ如何ナル事

實ガアルノデアアルカ、此間ニ對シテ福岡ノ如キハ稍、郡ニ於テ仕事ヲシテ居ル、其結果トシテ町村ハ發達シナイデアアル、町村デ何ヲシテ居ルカト云フト學校ノ如キコト其他ハ衛生等ニ屬スル事業ヲヤツテ居ル位デ一向町村ノ事業ガ發達シナイ、然レバ郡ニ於テ仕事ヲ致シテ居ナイ所ノ町村ハ如何ナル所ノ

廢セムトスルナラバ、實際ノ情況ニ於テ果シテ如何ナル狀態ニ弊害ガアルカ、之ヲ廢シタナラバ地方ノ政務ヲ改良スルニ於テ如何ナル著シキ改善ノ實ヲ擧ゲ得ルコトデアアルカ、此實際ノ情況ニ付テ論ズレバ宜シカラウト思ヒマス

〔此時談話スル者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議場デノ御話ハ御免ヲ蒙リマス、御靜ニ願ヒマス

○小松原英太郎君 ……而シテ郡制施行以來ノ經過ハ如何ニナツテ居ルカト申セバ、郡制施行以來ニ於テ議論ノ生ジマシタノハ或ハ大地主ノ制、或ハ郡會議員、府縣會議員ノ復選選舉ノ制度、是等ニ付イテ隨分議論ヲ生ジ、衆議院ニ於テ年々是等ノ點ニ就イテ議論ガアツタ、ソコデ遂ニ明治三十二年ノ議會ニ於テ政府ガ其改正案ヲ提出シ、兩院ニ於テモ之ニ贊成ヲ與ヘテ其改正案ガ通過イタシタデアリマス、サスレバ議院ニ於ケヤシテモ此郡制ナルモノハ施行以來十數年ノ間色々攷究ヲ致シテ、三十二年ノ郡制改正ノ際ニ於テ決シテ根本的ニ之ヲ廢止セヌケレバナラヌト云フ議論ハ無カッタノデゴザイマス、其改正ヲ認メテ、サウシテ之ヲ實施シテ宜シイト、斯ウ云フ意見デ我ハ當時郡制ノ改正ヲ是認シタ次第デアリマス、然ルニ其後二十一議會ニ當リマシテ、衆議院ニ於テ、郡制廢止ノ議ガ起ツタ、當時ノ政府ハ極力之ニ反對シタデアリマス、其次ノ議會ニ於テ初ニ當リマシテ、丁度内閣ガ交迭シテ、今度ハ政府自ラ郡制廢止案ヲ提出シタト云フ次第デアリマス、内閣ガ更迭イタシマスレバ、政策モ亦從ツテ變更スルト云フコトハ是ハ免レナイコトデアラウト考ヘマス、併ナガラ或ハ此選舉權ノ擴張デアルトカ、或ハ自治ノ權利ヲ伸張スルトカ縮メルトカ云フガ如キ、其主義、若クハ時ノ宜シキニ隨ツテ之ヲ改正スルト云フコトハ勿論當然ナコトデアアル、併ナガラ地方制度ノ如キ此制度ヲ一旦施行シタ所ノ制度ヲ根本的ニ改廢スルト云フコトハ、是ハ容易ニ爲スベキコトデナイト考ヘマス、デスノ如キ制度ヲ變更スルニ就イテハ、深ク實施上ノ利害得失ヲ慮リ、多年ノ經驗ト十分ノ攷究ヲ盡シテ之ガ存廢ヲ議スベキガ當然ノコトデアラウト信ズルデアリマス、然ルニ當時、現内閣ヨリ郡制廢止案ヲ提出シタトキハ如何デアアルカト申シマスルト、内閣交迭後僅ニ一箇月經過シタカ、シナイガラ井ノ時デアツタノデゴザイマス、兎ニ角大臣ハ勿論英明ナ人、假令地方ノ事務ニ付イテ經驗ガ無クトモ、明徹ナル頭腦ヲ以テ地方ノ狀況ヲ察知ヒラルコトハ勿論出來タデアラウト思ヒマス、併ナガラ就職後一箇月經ツカ經タナイカノ時ニ於テ斯ノ如キ重大ナル地方制度

實ガアルノデアアルカ、此間ニ對シテ福岡ノ如キハ稍、郡ニ於テ仕事ヲシテ居ル、其結果トシテ町村ハ發達シナイデアアル、町村デ何ヲシテ居ルカト云フト學校ノ如キコト其他ハ衛生等ニ屬スル事業ヲヤツテ居ル位デ一向町村ノ事業ガ發達シナイ、然レバ郡ニ於テ仕事ヲ致シテ居ナイ所ノ町村ハ如何ナル所ノ狀態デアアルカト斯ウ尋ネテ見マス、郡ニ於テ仕事ヲ致シテ居ラヌ所ノ町村モ矢張り同ジ狀態デアアル、今日ノ町村ハサウエライ仕事ヲシテハ居ナイ、スルダケノ餘地ハ無イ、今日ノ町村費ノ半バ以上、或ル町村ニ於テ町村費ノ七八割以上ハ教育費デアリマス、多クハ學校ノ爲ニ全力ヲ盡シテ漸ク町村ヲ維持シテ居ル有様デアアル、ソレ故ニ當局者ノ言ハルガ如ク郡ガ事業ヲスレバ町村ノ發達ヲ害スル、斯ウ云フ事實ト云フモノハ事實ニ就イテ質問ヲ致シマスレバ事實ニ就イテ答辯スルコトハ出來ナイデアリマス、ソレ故ニ本員等ハ此郡制ハ如何ナル弊害ガアルガ爲ニ之ヲ廢シナケレバナラナイト云フコトノ事實ヲ認メルコトハ出來ナイデアリマス、ソレカラ此郡制廢止ノ理由ト致シマシテハ丁度鎌田君ノ言ハレタ郡制ノ施行、郡ヲ自治體ニシタノハ間違ヒデアルト云フ御論ト同ジコトデ、内務大臣モ矢張りサウ考ヘテ居ル、元來郡ノ自治制ヲ施行シタノガ間違ヒデアアル、斯ウ云フ頭マカラ地方自治體ハ二階級ニシテ足レリト云フ議論ヲシテ居ラルルデアリマス、而シテ此郡制施行、制定ノ際ニ當ツテ色々議論ノアツタト云フコトモ述ベラレタ、如何ニモ其通リデアルト本員等モ記憶イタシテ居リマス、郡制制定ノ際、元老院ニ於テ色々議論ノアツタト云フコトモ事實デアアルヤウニ記憶イタシマス、併ナガラ此反對ハ當時ニ於テ勿論當然ノコトデアアル、新ニ地方制度ヲ變革シテ地方人民ニ自治ノ權利ヲ與ヘ、地方分權ノ制ヲ實施セムトスルニ當ツテ種々ノ議論ヲ生ズルト云フコトハ當然ノコトデアアル、或ハ官權ヲ鞏固ニシテ置クガ宜イデヤナイカ、地方自治ヲ許シテ其狀態ガ如何ニナリ行クデアラウカト云フ懸念モアツタノデアリマス、或ハ地方ノ自治ハ二階級ニシテ足レリ、或ハ官權ヲ鞏固ニシテ監督權ヲ強クシテ置ク爲ニ郡ノ自治ハヤラヌ方ガ宜シイ、斯ウ云フヤウナ議論ハ元老院ニ於テ勿論アツタ、甚シキハ地方人民ニ斯ノ如ク自治ヲ許スト云フコトハ共和政治ノ端ヲ啓キハセヌカト云フ懸念ノ議論ヲ生ジタコトモアリマス、併ナガラソレ等ハ過去ノ議論デアリマシテ、此地方制度ハ既ニ制定發布ニナリマシテ、其制定當時ニ於ケル議論ハ何如デアツタデアラウトモ、ソレ等ハ今日論ズルノ必要ハ無カラウト思フデアリマス、而シテ今日ニ於テ此制度ヲ

ヲ變更セムトスル所ノ議案ヲ議會ニ提出スルニ至ッタノデアリマス、是ハ恐
ラクハ衆議院ニ於ケル郡制廢止案ノ狀態ニ基イテ御出シニナツタカ、或ハ原
内務大臣ガ平素、地方ノ自治體ハ二階級デ足レリ、郡自治體ハ不必要ノモノ
デアルト云フノ平素ノ理想ヲ實行セムガ爲ニ提出セラレタモノデナイカト我
ミハ疑フノデアリマス、兎ニ角、當局大臣ガ自ラ地方ノ實況ヲ熟知シ、多年
ノ經驗ニ基イテ此地方自治制度ヲ改正、根本的改廢ノ案ヲ提出セラレタモノ
トハ見エナイ、サウデナイト云フコトハ明白デアラウト考ヘルノデアリマス、
ソレカラ此郡制ノ問題ニ付キマシテハ、先刻モ御論ノアッタ通りニ兒玉内務
大臣ノ時代ニ郡制ノ問題ガ起ッタト云フコトハ事實デアルト本員モ信ジテ居
リマス、併ナガラ當時ハ此郡合併問題カラ生ジタ問題デアルヤウニ思ヒマ
ス、諸君モ御承知ノ通り丁度兒玉内務大臣ガ其職ニ當ラレタ時分ニハ、行政
整理、根本的ニ行政整理ヲ施行シヤウト云フ時デアツテ、大ニ府縣ノ分合ヲ
行ヒ、大ニ郡ノ分合ヲ行ヒ、非常ナ刷新ヲ地方ニ加ヘヤウト企テラレタ時デ
アリマス、其時ニ第一ノ問題ニナッタノハ郡ノ分合、郡ノ合併問題デアッタ
申スコトデアリマス、當時ノ郡ノ合併ハ約ソ人口二十萬乃至三十萬ヲ標準ト
シテ郡ノ合併ヲ行ハウ、ソレ故ニ大抵ノ府縣ニ於キマシテハ或ハ三郡乃至四
郡、五郡グラ非ニナツテ仕舞フノデアリマス、ソコデ斯ノ如キ大キナ郡ヲ作
ル以上ハ郡制ハ如何スルノデアルカト云フ議論ガ從ツテ起ッタノデアラウト思
ヒマス、兒玉内務大臣ハ諸君モ御承知ノ通り、アア云フ英邁ナ人デアリマシ
タカラ、ナニソレハ郡ハ廢シテモ宜イデヤナイカト云フノカラ、郡制廢止問
題ト云フコトガ起ッタヤウニ思ハレマス、ケレドモ其郡制廢止問題ハ右申上デ
マス通り郡ノ非常ナ合併論カラ生ジタ所ノ廢止論デアリマシテ、單ニ郡制ヲ
不必要デアルカラ、或ハ弊害ガアルカラ、何ノ效用モナサヌカラ郡制ヲ廢サ
ウト云フ議論トハ趣ガ違フノデアリマス、ケレドモ一トタビ郡制廢止ノ意見
ヲ出シタ地方官ハ其意見ヲ變更スルト云フコトハ容易ニ出來ナイ、ソコデ其
ノ當時ノ廢止論ガ引掛リニナツテ、矢張り或ル縣知事ハ廢止論ト云フヤウナ
因縁ガ喰ッ付イテ來テ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、先刻内務大臣ハ四
五ノ縣ヲ除クノ外、當時ヨリ皆廢止ニ賛成シテ居ルト……昨年ノ委員會ニ於
テ其書面ヲ見セテ貰ヒタイト云フ請求ヲシタ委員ガアッタトキニ、ソナナ書
類ハ殘ッテ居ナイト云フコトデアアル、本員等ノ聞ク所デハ四五ノ知事ヲ除ク
ノ外、皆賛成ト云フ譯デハナカッタヤウニアリマス、默ッテ居ッテ意見ヲ言ハヌ

ノモ餘ホド多カッタ、唯ダ熱心ニ之ニ反對スル知事ハ意見書ヲ出シタデアラ
ウト思フンデアリマス、其他ハ意見書モ何モ出シテ居ナイノガ大分アルデア
ラウト考ヘマス、ソレカラ當時ハ左様ナル關係カラ致シテ郡制廢止ヲ可トシ
タ地方官モ、其後ノ形勢、其後ノ經過ニ於テ、郡ノ事業ト云フモノハ段々發
達スル、郡自治體ト云フモノガ段々年々逐ッテ發達シ來タノデアリマスカラ、
當時ハ當時、若シ兒玉内務大臣ノ時デアッタナラハ是ハ廢シテ宜カラウガ、今
日ハ既ニ後レタリ、今日郡制ヲ廢スルト云フコトハ餘ホド實際ニ付イテ攷究
考慮シナケレバナラスコトデアルト云フ意見ヲ懷イテ居ル地方官モアルノデ
アリマス、左モアルベキコトト本員等ハ信ズルノデアリマス、ソコデ郡制ヲ
廢スル、郡制ヲ廢シマシタ結果ハ如何ニナルカ、又郡ハ今如何ナル狀態ニナッ
テ居ルカ、實際ノ情況ハ如何デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、先刻一本
君ガ委シク述べラレヤシタカラ、本員ハソレ等ノ點ニ付イテハ重複ヲ省クコ
トニ致シマシテ、唯茲ニ郡制ヲ廢シタナラバ如何ノ結果ヲ生ズルカト云フ、
斯ウ云フコトニ付イテ一言イタシテ置キタイト思フンデアリマス、郡制廢止
ノ目的ハ地方ノ事務ノ刷新ヲ圖リ、地方行政ノ改善ヲ實ヲ擧ゲヤウト云フ目
的デアラウト思ヒマスガ、本員等ノ信ズル所デハ、決シテ其目的ヲ達スルコ
トハ出來マイト思フノデアリマス、第一、郡制ヲ廢シマスレバ、組合ノ町村
ト云フモノガ必要ニナル、郡制ニ代フルニ町村組合ヲ以テス、何ノ利益ガア
ルカ、却ッテ人民ノ爲ニ煩雜ヲ來タスノミデアラウト考ヘルノミデアリマス、
郡役所ノ關係ハ如何ニナルカ、先キニ本君モ述べマシタト存ジマスガ、此
郡役所ノ關係ハ、郡制ヲ廢シマシタ以上ハ、到底郡役所ヲ維持スルコトハ出
來マイト思フノデアリマス、内務大臣ハ今日、郡役所ヲ廢スルコトハ出來ナ
イ、郡制ハ假令廢サレテモ郡役所ハ廢セナイ、又廢シ得ベキモノデハナイト、
斯ウ云フ御意見デアアル、議場ニ於テ御斷言ニナツタ、本員ハ勿論内務大臣ヲ
信ズルノデアリマス、今日、郡役所ヲ廢スベキモノデナイ、郡役所ノ又廢シ
得ベキモノデナイト云フコトヲ信ズルノデアリマス、併ナガラ一タビ郡制
ガ廢サレタ曉ニハ、ドウナルデアリマセウ、衆議院ニ於テハ年々郡役所廢止
論ガ起ッテ參ルデアリマセウ、又各地方ニ於テモ此郡制廢止ニ伴ウテ郡役所廢
止ト云フコトハ皆此郡制廢止ヲ賛成スル者ノ無論ノコトトシテ考ヘテ居ルコ
トノヤウデアリマス、假令一回二回、二年ヤ三年ハ或ハ如何ナル議論ガ衆議
院ニ生ジ、如何ナル議論ヲ來タスコトガアリマシテモ、ソレハ持チ應ヘモ出

來マセウガ、毎年、年々郡役所廢止論ガ起ルトカ、或ハ郡長ノ俸給ト云フモノモ勝手ニ削ルコトハ出來ナイノデアリマスルガ、之ニ對シテモ年々議論ヲ生ズルト斯ウ云フコトニナリマシタナラバ、其結果ハ如何ニナルモノデアラウカ、遂ニ郡役所廢止、是ハ免レナイコトニナルデアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ今日郡制廢止ニ御賛成ニナル諸君ハ此後ニ郡役所ハ廢止サルルモノト覺悟ヲナサラスケレバナラヌコトデアラウト思フ、イエ、郡制ダケ廢スルノデ、郡役所ハ廢スルノデナイ、安心ダ、斯ウハ事實參ラヌコトデアラウト信ズルノデアリマス、モウ一ツハ郡制廢止ノ結果トシテ生ジマスルノハ町村ノ合併デアリマス、郡制一トタビ廢止トナリマシタナラバ、全國到ル所タスト云フコトハ火ヲ賭ル如キコトデアラウト考ヘルノデアリマス、現ニ福岡ノ如キ郡制ヲ廢シ一方ニ郡制ヲ廢シ、一方ニハ大町村ヲ作ル、是ニ由ッテ町村ノ資力ヲ増大ニシ、町村ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フ考デ前知事ノ如キハ郡制ヲ廢止シタラ宜カラウト云フ意見デアッタヤウニ思ハレマスル、サウシテ實際、町村合併ヲヤリカケテ居ル、既ニヤッテ居ルヤウデアリマス、其他ノ府縣ニ於キマシテモ殆ド流行ノニ非常ナ町村ノ分合ヲ行ハムトシテ居ル形況ニ察セラルルノデアリマス、若シ郡制ヲ廢シ其代リニ町村ノ分合ヲ斷行シ、斷行スルト申シタ所デ當局者モ無理ナコトハシナイ、成ルタケ町村ノ合意協議ガ調ウタ上デ之ヲ實行スルノデ、無理ニ町村ノ分合ヲヤラセルト云フコトハシナイト云フコトハ當局者モ明言シテ居リマス、ダガ實際ハナカ／＼サウデナイ、地方當局者ハ町村ノ分合ヲ行ハウ、此目的ヲ達シヤウ、斯ウ云フニ付イテハ甚シキ強迫ノ手段コソ執リマスマイケレドモ、其目的ヲ達スルニ付イテハ種々ノ方法ヲ以テ其目的ヲ達シヤウト謀ルノハ、是ハ免レナイコトデアリマス、然レバ郡制ノ廢止ニ次イデ郡役所廢止論ガ起リ、郡制廢止ニ次イデ町村ノ分合ガ各地ニ起ル、紛議ヲ生ズル、而シテ町村自治ハ如何ニナルデアルカ、町村自治トシテ最モ尊重スベキ町村ノ親和協同、謂ハユル一家族の協同ノ美風、協同的精神ト云フモノハ破壞サレテ仕舞ッテ、町村自治ハ僅ニ各部落部落ニ存シマシテ町村ハ恰モ聯合體ノ如キ各部落ノ聯合、町村會ハ聯合會ノ如キ狀態ニ陷ッテ、遂ニ此町村自治ヲ根本的ニ破壞シテ仕舞フ、折角町村制ヲ施行シテ今日マデ漸ク自治協同ノ慣習ガ付キ町村自治ノ健全ナル發達ヲ遂ゲムトシツ、アル今日ニ當リマシテ再ビ町村制施行ノ時ニ於ケルガ如キ町

村ノ分合ヲ行ヒ、非常ナ紛議ヲ生ジ、加之町村自治ノ精神、町村自治體トシテノ精神ヲ破壞シマシテ、此自治體ヲ打壞シテ仕舞フコトニスルト云フコトハ實ニ考ヘナケレバナラヌコト信ズルノデアリマス、是ハ全國ニ亘リマシテ此問題ハ容易ナラズ重大問題デアルト信ズルノデアリマス、一トタビ此郡制ガ廢止ト云フコトニナリマシタナラバ、全國人民ハ非常ナ困難ヲ被リ折角今日マデ發達シツツ參ッテ居ル所ノ町村自治ヲ破壞シテ仕舞フ、而シテ今日、日露戰役ノ後ヲ承ケマシテ、大ニ地方ノ發達改良ヲ要スル時デアッテ、徒ラニ制度ノ變更、制度ノ改廢ヲ試ミテ地方人民ノ紛議紛擾ヲ醸スト云フ時デハナイノデアリマス、宜シク地方自治體ノ改良ヲ謀リ、地方人民ガ經營經營シツツアル所ノ各種事業ノ發達ヲ促シテ戰後ノ今日ニ應ズル經畫ヲ全ウスルト云フコトハ今日ニ於テ最モ必要ナコトデアラウト信ズルノデアリマス、徒ラニ此制度ノ改廢ニ熱中シ制度ノ改廢ヲ試ミル時デナカラウト存ズルノデアリマス、ドウゾ諸君ニ於テモ本案ヲ否決セムコトヲ希望シマス

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 谷子爵ハ何デスカ

○子爵谷干城君 討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

〔贊成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 規則ガ許シマセヌ、貴族院規則ハ諸君ハ御熟知デアラウト存ジマス、……馬屋原彰君

〔馬屋原彰君演壇ニ登ル〕

○馬屋原彰君 諸君、本員ハ此郡制廢止法案ニ贊成ヲ表シマスル者デアリマス、此問題ニ付キマシテハ既ニ諸君ノ御考査モ十分行届イテ居ルコトト考ヘマスルカラ、本員ハ茲ニ簡單ニ贊成ノ大意ヲ述ベヤウト存ジマス、此法案ニ反對ノ郡制存置論者ノ御演說ヲ午前以來篤ト承ハリマシタ、論者ノ所論タルヤ頗ル多岐多端ニ涉ッテ居リマスルガ、其所論ノ概要ハ、我ガ地方制度ニ自治ノ三階級ガ必要デアアル、郡自治ハ年々逐ウテ發達シツツアルノニ、之ヲ廢止スルト云フノハ早計ナリ、又郡制ハ郡ニ適スル事業ガアル故ニ必要ナリト云フガ如キ點ニ歸著スルヤウデアリマスルガ、成ルホド我ガ地方制度ノ創設ノ年ニ於キマシテハ府縣若クハ町村ノ事業ニ適セザルモノハ、郡ニ於テ之ヲ經營スルト云フ方針ノ下ニ、此郡制ノ必要ト云フコトモ豫期セラレタルニ相違ナイノデアリマス、然ルニ實施以來、段々地方ノ狀態ノ變移スル所ト多年經

驗ノ上トニ徴シマスルト、郡制ナルモノハ管ニ我が地方ニ適セザルノミカ、往々不利ナル點ガアルカラシテ、此際郡制ヲ廢シテ以テ地方ノ改善ヲ計ラウト云フガ本案大體ノ趣意デアアルノデアリマス、本員熟ク地方ノ狀態及此制度ノ根本ニ就イテ考ヘマスルニ、此郡制ナルモノハ實ニ我國情ニ適セズ又實際ニ必要ノ無イト云フコトヲ認メタノデアリマス、其一例ハ地方人民ガ實地眞面目ニ必要ヲ感ジマセヌ所ノ區域ニ郡制ヲ施イタト、是マデ自治ト云フコトニ緣故モ無ク又根據モ乏シイト云フ所ノ地區ニ郡制ヲ施イタト、此ノ二ツガ一番ノ缺點デアリ、又經驗ニ徴シテ見ルト云フト實ハ失策デアアル、尙ホ他ノ一例ヲ舉ゲムニハ、郡ノ經費ト云フモノハ、御承知ノ通り、制限ハアルニモ致セ、重モニ町村ノ供給ヲ以テ支辨ヲシテ居ル、ソレデアリマスカラシテ、郡法人ト云フモノハ、殆ド町村ト上級廳トノ給養ニ依ッテ生活ヲシテ居ルト云フ有様デアリマス、尙ホ言葉ヲ強メテ申シマスルト云フト、郡ハ則チ町村ノ資力ヲ奪ヒ町村ノ發達ヲ妨害スルコトニナルノデアリマス、是ハ本員ガ申スマデモナク、既ニ特別委員會ニ於テモ度々討論ガ出タヤウナ次第デアリ、又世間ニモ此二點ハ何人モ既ニ認メテ居ル所デアリマス、デ本員ガ此郡制ノ廢止ヲ希望イタシマスル所以ノモノモ是等ノ事實アルガ爲デアリマス、更ニ反對論者ノ所論ニ對シマシテ一言ヲ致シテ置キタイノハ、先刻來反對論者ノ所論ヲ伺ヒマスルニ、郡制廢止ノ結果、町村ノ合併ガ益盛ニナル、町村ノ合併ガ盛ニナレバ、則チ町村自治ノ精神ヲ破壞スルモノデアアル、又組合ト云フモノガ出來ル、此組合ト云フモノガ頗ル弊ノ有ルモノデアアル、斯ウ云フ御説デアリマスルガ、本員ハ甚ダ其意ヲ得マセヌ御論ト考ヘマス、本員ハ小サイ貧弱ナル所ノ町村ノ多キヨリハ合併ヲ致シマシテモ益大町村ヲ作ルト云フコトハ、國家大體ノ上ニ利益デアリマセウカ、不利益デアリマセウカ、一言ニシテ分ル話デアアル、成ルベク大町村ニシテ有力ナル町村ヲ作ルト云フコトハ二言ヲ埃タズシテ明ナコトデアアル、然ルヲ合併ガ盛ニ行ハルレバ自治ノ精神ヲ破壞スルコトニナルトハ甚ダ其意ノアル所ヲ了解ニ苦シムノデアリマス、又此組合ノ如キモ既ニ我が地方制度ノ上ニ於テ地方制度ノ規定ガ許ス所デアアル、其範圍内ニ於テ組合ハ出來ルコトニナッテ居ル、是ハ御承知ノ通りデアアル、然ルヲ組合ガ出來タラバ弊ガアルト云フハ實ニ我が地方制度ニ對シテハ甚ダ酷論デアアルト思フ、尙ホ反對論者ニ一步ヲ譲リ、反對論者ノ主張サルル如ク、果シテ郡制ヲ存置スル上ニ付イテ小利益ガアルト致シマシテモ、本員ガ

見ル所ニ依リマスルト、地方一部ノ小利益デアアル、此小利益ヲ以テ國家全體、竝ニ地方全體ノ利益ヲ顧ミザルガ如キハ本員ノ斷ジテ探ラザル所デアリマス、本員ハ切ニ此法案ニ對シマシテ公平ナル御判斷ヲ與ヘラレムコトヲ切望シテ止マザルモノデアリマス

○伯爵柳原義光君 討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 唯今、原内務大臣ガ發言ヲ求メラレマシタ

〔國務大臣原敬君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(原敬君) 此問題ニ付キマシテハ反對ノ諸君竝ニ贊成ノ諸君ノ御演說モアリマシテ、既ニ其論旨ハ明瞭ニナッテ居ルト思ヒマスルシ、且ツ政府ノ所信モ屢々陳述イタシマシタカラ、重ネテ委シクハ申上ゲマセヌ、併ナガラ茲ニ先刻小松原君ノ御説ニ議論ニアラズシテ事實ノ相違ガ澤山アリマス、是ハ諸君ノ御參考ノ爲ニ辯ジテ置キタイト思フノデアリマス、例ヘバ郡ノ費用ノコトデアリマス、郡ノ費用ハ五萬以上ノ費用ヲ使ッテ居ル所ガ幾ツアルト云フ仰セデアリマシタガ、ソレハアリマス、併ナガラ郡自身ノ事業ニアラズシテ、多クハ補助デアリマス、郡ノ事業トシテ見ルベキモノニ至ッテハ左様ニ澤山費用ヲ使ッテ居ル今日ノ程度デハゴザイマセヌ、又此問題ハ……郡制廢止ノ問題ハ兒玉總督……兒玉男爵ガ内務大臣タリシ時ニ、斯ク斯クデアルト云フコトノ御説モアリマシタガ、ソレハ兒玉内務大臣ノ折ニハ無論、郡制廢止ノミデハアリマセヌ、府縣ノ廢合、種々ノ改革論モアッタノデアリマスガ、併シ此郡制廢止ニ至リマシテハ、確ニ地方官ニ其コトヲ諮問イタシ、地方官ハ其後ニ至ッテ境遇ノ變化ニ依ッテ説ヲ變ジタ人ガアルカハ知レマセヌガ、當時ノ意見ヲ昨年ニ至ッテ悉ク徴シマシタ所ガ、五六ノ縣ヲ除クノ外、他ノ縣ハ殘ラズ郡制廢止ヲ可トシテ答申ヲ致シテ居ルコトハ明瞭デアリマス、是ハ何カ其間ニ疑點ノアルカノ仰セハ間違デアリマス、ソレカラ郡制ヲ廢スレバ必ズ郡役所全廢ガ來ル、其次ニハ町村ノ合併ガ來ル、地方ヲ錯亂スルガ如キ御説デアリマスケレドモ、是ハ人ミノ想像デ如何ヤウナルコトガアルカハ知レマセヌガ、既ニ郡制ヲ始メテ實施サルトキニ郡制ヲ實施スレバ斯クノ利益ガアルト云フコトハ、即チ小松原君ナドガ唱ヘラレタ所デアアル、其トキハ郡制ハ實ニ萬能デアリマシタ、郡制サヘ施カルレバ地方制度ハ大層改良ガ出來ルカノ如キ御説ハ私ドモ承ッテ居ル、然ルニ豫期ニ反シテ十五六

簡年ノ經過ニ於テハ全ク其トキノ御説ト反對ノ結果デアリマス、而シテ今回ハ郡制ヲ廢スレバ從テ來ル所ノモノハ郡役所ノ全廢デアルトカ、町村ノ合併デアルトカ、大層ナル騷動ガ起ルカノ如キ仰セデアリマスケレドモ、是モ想像デアルカラ私ハ強ヒテ辯ジマセヌ、恰モ萬能ヲ唱ヘラレタル正反對ノ御説デアル故ニ是又以テ恐ラクハ其豫期ニ反スルデアラウ、現ニ私ハ如何ナル時期ニ於テ其職ヲ去ルカ知レマセヌガ、何人モ地方ノ改良ヲ圖ルニ於テ町村ノ合併ヲ斷行イタスノミナラズ、謂ハレナク地方ノ苦情ニ拘ラズ之ヲ合併スルガ如キハ、何人ガ局ニ當リマシテモ出來ヌコトデ、且又大層近年町村ノ合併ヲ致シテ騷動デモアルカノ如キ仰セデアリマスケレドモ、實際ニ於テハ左マデノコトハゴザイマセヌ、或ハ小松原君ナドガ御記憶ノ二十一年二十三年頃即チ郡制實施ノ頃ニハドウデアリマシタカ、先刻申シマシタ七萬ノ町村ヲ一萬イクラニ減少イタシマシタ、此時コソ種々ノ騷動モ起ッタノデ、爾來千イクラヲ町村ガ合併セラレテアリマスケレドモ、多少ノ苦情ノアッタ所ハ無論アリマス、併ナガラ多クハ相當ノ協議ガ纏マリマシテ圓滿ニ行ハレテ居ル、是ハ事實デアリマス、殊ニ私ノ就職イタシマシテ以來、町村合併ヲ多ク致シマシタ所ハ愛知縣デアリマス、愛知縣ハ私ノ就職以前ヨリ無論合併ヲ致シツツアッタノデアルガ、其方針ヲ續ケマシテ、苦情ノアル所ハ措キ、苦情ノ無イ所ニ向ッテ町村合併ヲ致シテ居ル、是ハ僅カ未ダ一年ニモ足リマセヌ故ニ、其結果ヲ今日云々スル程ノコトハアリマセヌケレドモ、併ナガラ世間ノ想像スルガ如キ甚シキ混雜ヲ醸シテハ居ラヌノデアリマス、又福岡縣ノ如キ昨今ニ至リマシテ僅カ二箇所ノ合併ガアリマス、地方デ郡制廢止ヲ豫期シテ如何ナル企テ致シテ居ルカハ知リマセヌ、實際ニ於テハ僅ニ二箇所、其他ニ合併ハ幾ツモアリマスケレドモ、今日マデ之ガ爲ニ紛擾ヲ醸シテ居ルト云フヤウナ所ハゴザイマセヌ、而シテ又郡制ガ廢止セラルレバ必ズ郡役所ノ全廢ガ來ルト云フコトハ御議論トシテハ、ドウカ知ラヌガ、實際如何デアラウカ、又町村合併ガアツテ依ッテ以テ地方ニ騷動ヲ醸スデアラウカト云フコトモ實地如何デアリマセウカ、今日ノ政府ノ方針トシテハ無論左様ナルコトヲ致ス考ハナイ、又小松原君其他反對ノ諸君ノ御希望ノ如ク、地方制度ノ刷新ニ力ヲ用弗ルガ宜シイデハナイカト云フコトハ、委員會ノ當時モ承リマシタ、即チ刷新ノ一部トシテ今日不要ナル所ヲ廢スルト云フコトヲ提出スレバ、ソレハ不可デアアル、制度ハ總テ現状ノ儘デ置キ、而シテ刷新ヲ圖レト云フコトハ何分

御同意ガ出來兼ネルコトデアアル、要スルニ今日マデ既ニ種々ナル點ヨリ郡制ノ廢止スベキ理由ト廢止ヤザルベカラザル理由トハ屢々陳述イタシマシタコトデアリマス、町村ノ合併ノ如キニ至リマシテモ、是ハ急ニハ出來ヌコトガアリマスケレドモ、現ニ今日ノ村ノ中ニハ僅カ九戸ヲ以テ一村ヲ成シテ居ル所モアリマス、土地ノ關係ニ於テハ是ハ必ズ合併ガ出來ルト云フ次第デアリマセヌケレドモ、今日ノ現状ノ儘デ町村ガ居ルト云フコトハ町村ノ發達上妨アルニハ違ヒゴザイマセヌ、故ニ先刻モ申シマシタ如ク時勢ノ進運ニ促サレテ、斯ウ云フ所モ漸次ニ合併イタシテ有力ナル町村ガ出來ルト云フコトハ是ハ自然ノ趨勢デアルト存ジマス、故ニ今日ハ反對論ノ方モ認メラルガ如ク、日露ノ大戦争モ終リ地方制度ニ向ッテモ刷新ヲ加ヘベキ時デアリマスカラ、地方官其他ノ意見ヲ徵シマシテ、此不要ナル制度ヲ廢シテ地方制度ノ刷新ノ方針ヲ執ッタノデアリマス、尙ホ其詳細ノコトハ既ニ委員會デ委シク述ベテ、參考ノ書類モ多ク提出シテ御研究ノ方ハ無論御承知ノコトデ、重ネテ申ス必要ハアリマセヌガ、此郡制ノ廢止ニ伴ウテ種々ノ弊害ノ起ルト云フコトハ政府ニ於テハ認メテ居リマセヌ、之ニ依ッテ確ニ地方制度ノ刷新ヲ圖ルコトガ出來ルノデアリマス、他ノ問題ガアツテ起ッタノデアリマセヌ、且ツ此問題ハ今日始メテ起ッタ問題デアリマセヌ、地方ノ間ニモ内務當局者ノ間ニモ研究シツツアツタ、無論私ハ就職日淺キ時ニ提出シタノデアリマスガ、其研究ノ結果トシテ丁度私モ左様ニ認メテ居ッタ所ノ改正ヲ企テタニ過ギヌノデアリマスカラ、他ノ種々ノ疑點、種々ノ想像ハ銘々何人モ免レヌト思ヒマサガ、諸君ノ公平ナル判斷ニ訴ヘテ此事實ニ篤ト御考ヲ及ボシマシタナラバ、決シテ此制度ハ理論ノ如ク行ハレテ居ルモノデハナイ、世間一般ニ於テモ決シテ之ヲ廢スルニ於テ反對ノアルモノデハナイト云フコトハ御了承ヲ得ルダラウト思ヒマス、多クノ言ヲ俟タズシテ諸君ノ判斷ニ訴ヘルノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 柳原伯爵ニ申上ゲマスガ、賛否兩論者二人以上ゴザイマシタカラ貴族院ノ規則ガ討論終結ノ動議ヲ許シマス、唯今柳原伯爵ハ討論終結ノ動議ヲ提出サレマスカ

○伯爵柳原義光君 左様デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 多數ト認メマス、是ヨリ本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヲ決テ採リマス、採決ノ方法ニ付キマシテ要求ガアリマス、賛否兩論者ヨリ九十七名ノ賛成ヲ以チマシテ記名投票ノ要求ガ出テ居リマス、故ニ是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス、念ノタメ諸君ニ申上ゲマスガ、問題ヲ可トセラハル議員、即チ本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ハ白色票、二讀會ニ移スベカラズトセラルル諸君ハ青色票ヲ投票函ニ御投票ニ相成ラムコトヲ希望イタシマス

○安廣伴一郎君 原案ニ反對ノ者ハ青イノヲ入レテ宜ウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 原案ヲ第二讀會ニ移スベカラズト云フ諸君ハ青色票デアリマス、規則ノ通りデアリマス、是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵德川家達君) 此際、諸君ニ御諮リヲ致スコトガゴザイマス、由利子爵ガ步行ガ難澁デアリマスノデ、記名投票ナルヲ以テ子爵ノ投票ヲ鄰席ノ御方ニ御託シニナリタイト云フコトデアリマス、先例モアリマスカラ許可シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔書記官氏名點呼ヲ繼續ス〕

○議長(公爵德川家達君) 投票ガ濟ミマシタカラ開票ヲ致シマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵德川家達君) 記名投票ノ結果ヲ御報告イタシマス、投票總數二百五十七、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル者、即チ白票ヲ投シタル者百八、本案ヲ第二讀會ニ移スベカラズトスル者、即チ青票ヲ投シタル者百四十九、故ニ本案ハ否決セラレマシタ

〔議場騒然、拍手起ル〕

○議長(公爵德川家達君) マダ議事ガゴザイマスカラ、御靜肅ニ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、府縣制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

府縣制中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

府縣制中左ノ通り改正ス

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會議員ハ府縣ノ人口五十萬未満ハ議員三十五人ヲ以テ定員トシ五十萬以上百萬未満ハ五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス

第六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

同條第二項ヲ削ル

第六十九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

府縣參事會ハ必要ト認ムルトキハ實地ヲ調査スルコトヲ得

附則

此ノ法律ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ選舉ニ關スル條規ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデアリマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、アトハ皆委員付託デアリマスガ、此特別委員ノ選舉ハ皆議長ニ御一任ト心得テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無イト認メマシテ、一々選舉ノコトハ伺ヒマセヌ、併ナガラ此特別委員ノ人員ニ於テ御意見ノゴザイマスル御方ハ其御積リデ、ドウゾ御發言ヲ願ヒマス

〔村田保君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 村田君ハ……

○村田保君 此議事日程ノ三十マデヲ總テト云フコトデゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 第三十八委員付託デハゴザイマセス

○村田保君 本員ハ此第十四ト、第十六ハ全ク相關聯シタ法案デゴザイマスカラ、此二案ダケハ同一委員ニドウカ……

○議長(公爵德川家達君) ソレハ其際ニ御發言ヲ願ヒマセウ

○議長(公爵德川家達君) 議事日第八、鑛業法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

鑛業法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

鑛業法中左ノ通改正ス
第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

含油層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯ハ之ヲ石油ト看做ス但シ工業用其ノ他ノ營利ヲ目的トセスシテ單ニ一家ノ自用ニ供スルモノニハ本法ヲ適用セス

第二百十條 明治三十九年十二月三十一日以前ヨリ引續キ第二條第二項ノ可燃質天然瓦斯ヲ採掘スル者ハ同條同項但書ニ該當セサル場合ト雖明治四十年六月三十日迄ニ其ノ旨鑛山監督署長ニ届出ルトキハ其ノ届出ニ係ル坑井ヨリ噴出スル可燃質天然瓦斯ニ限リ本法ヲ適用セス
○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデスカラ議事日程第十二移リマス

○議長(公爵德川家達君) 和歌山縣下郡界變更法律案、衆議院提出、第一讀會
和歌山縣下郡界變更法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議事速記録第十五號

明治四十年三月二十一日

鑛業法中改正法律案 第一讀會
治安警察法中改正法律案 第一讀會
和歌山縣下郡界變更法律案 第一讀會
日本水產銀行法案 第一讀會

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

和歌山縣紀伊國東牟婁郡佐本村ヲ同縣同國西牟婁郡ニ編入ス
附則

本法ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十二ニ移リマス、治安警察法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

治安警察法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

治安警察法中左ノ通改正ス
第五條第二項中「女子及」ヲ削ル

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四ニ移リマス、日本水產銀行法案
衆議院提出、第一讀會

日本水產銀行法案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

日本水產銀行法

第一章 總則

第一條 日本水產銀行ハ水産業ノ改良發達ノ爲資本ヲ貸付スルヲ以テ目的トスル株式會社ニシテ其ノ本店ヲ東京市ニ置ク
第二條 日本水產銀行ノ資本金ヲ一千萬圓トス但シ株主總會ノ決議ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケテ資本金ヲ増加スルコトヲ得

第三條 日本水產銀行ノ各株式ノ金額ヲ五十圓トス

第四條 日本水產銀行ノ存立時期ヲ設立免許ノ日ヨリ五十箇年トス但シ株主總會ノ決議ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章 重役

第五條 日本水產銀行ニ總裁一人理事四人監査役三人ヲ置ク

總裁ハ日本水產銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

理事ハ總裁ヲ補助シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ日本水產銀行ノ業務ヲ分掌ス

監査役ハ日本水產銀行ノ業務ヲ監査ス

第六條 總裁ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ三箇年トス

理事ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シ其ノ任期ヲ三箇年トス

監査役ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ任期ヲ二箇年トス

第三章 營業

第七條 日本水產銀行ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一 年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付

二 定期償還ノ方法ニ依リ不動産又ハ船舶ヲ抵當トスル貸付

三 漁業權ヲ抵當トスル貸付

四 國債證券、地方債證券、社債券又ハ株券ヲ質トスル貸付

五 水產業ニ關スル會社ノ社債券ノ應募又ハ引受

六 爲替、荷爲替及水產物ヲ擔保トスル貸付

七 預リ金及保護預リ

八 手形ノ割引

九 水產業ニ關スル信託業務

十 法律ニ依リ設定シタル水產業ニ關スル財團ヲ抵當トスル貸付

前項第八號ノ手形ハ割引依頼人ヨリ水產物又ハ水產業ニ關スル會社ノ株券、債券ヲ擔保ニ供スルモノニ限ル

第八條 日本水產銀行ハ市町村ニ對シ無擔保ニテ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得

法律ニ依リ設立シタル漁業組合、水產組合又ハ産業組合ニハ年賦若ハ定期ノ償還方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

水產業者組合ヲ設ケ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出タルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限り定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

第九條 日本水產銀行ハ營業上餘裕アルトキハ國債證券、地方債證券又ハ社債券ヲ買入レ又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ確實ナル銀行ニ預金ヲ爲スコトヲ得

第十條 日本水產銀行ハ日本銀行、日本勸業銀行及日本興業銀行ノ代理店トナルコトヲ得

第十一條 日本水產銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第十二條 日本水產銀行ハ第七條第一項第一號乃至第四號、第十號及第八條ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ債務者カ貸付ノ目的ニ反シ貸付金ヲ使用シタルトキハ償還期限前ト雖其ノ貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第四章 準備金

第十三條 日本水產銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ及利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第五章 政府ノ監督及補助

第十四條 政府ハ日本水產銀行ノ業務ヲ監督ス

第十五條 日本水產銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 日本水產銀行ニ於テ支店又ハ代理店ヲ設置シ若ハ改廢セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

主務大臣ニ於テ支店又ハ代理店ヲ必要ナリトスルトキハ日本水產銀行ニ命シテ之ヲ設置セシムルコトアルヘシ

第十七條 日本水產銀行ハ株主ニ配當金ノ分配ヲ爲サムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 主務大臣ハ必要ナリト認ムルトキハ日本水產銀行ノ貸付割引ノ金額及方法ヲ制限スルコトヲ得

第十九條 主務大臣ハ日本水產銀行ノ營業上法律命令又ハ定款ニ背戾シ若ハ公益ヲ害スル事件アリト認ムルトキハ之ヲ制止スヘシ

第二十條 日本水産銀行ハ主務大臣ノ命令ニ從ヒ其ノ營業ニ關スル諸般ノ

景況及計算報告書ヲ差出スヘシ

第二十一條 政府ハ日本水産銀行監理官ヲ置キ主務大臣ノ指揮ヲ受ケ日本

水産銀行ノ業務ヲ監理セシム

第二十二條 日本水産銀行監理官ハ何時ニテモ日本水産銀行ノ金庫、券書

庫、帳簿及諸般ノ文書ヲ検査スルコトヲ得

日本水産銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十三條 日本水産銀行ノ配當金ニシテ毎營業年度ニ於テ年百分ノ六ノ

割合ニ達セサルトキハ政府ハ創立初期ノ末日ヨリ十箇年間ヲ限リ之ニ達セシムヘキ金額ヲ補給スヘシ但シ其ノ補給額ハ如何ナル場合ト雖拂込資本金ノ百分ノ六ヲ超過スルコトヲ得ス

第六章 罰則

第二十四條 日本水産銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁及理事ヲ百圓以

上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ事犯ニ關セサルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 第十一條ノ規定ニ反シ本法ニ記載セサル業務ヲ營ミタルトキ

二 本法ニ於テ認可ヲ受ケヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

附則

第二十五條 日本水産銀行設立發起人ハ設立委員十五名ヲ選舉シ主務大臣

ノ認可ヲ受ケ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十六條 設立委員ハ定款ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募

集ス

第二十七條 設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込書ヲ主務大

臣ニ提出シ銀行設立ノ認可ヲ稟請スヘシ

前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク各株式ニ付第一回ノ拂

込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第二十八條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ日本水産銀

行總裁ニ引渡スヘシ

第二十九條 日本水産銀行ニ關シ本法ニ規定セサル事項ハ明治二十三年法

律第七十二號銀行條例ヲ適用ス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此法律案ハ水産業者ニ資本ヲ供給スルト云フ意

味ヲ以テ一千萬圓ノ銀行ヲ設立イタシマシテ、政府ハソレニ十年間六分ノ補

給ヲ認メテヤラウト云フ、斯ウ云フ法案デアリマス、水産ノ事業ト云フモノ

ハ、是ハ重要ナル事業デアリマスカラ、是ガ資本ノ供給ヲ圖ルト云フ點ニ付

イテハ、政府ハ固ヨリ異議ハ無イ所デアリマスガ、併ナガラ此法案ヲ見マス

ト云フト、其事業、營業ノ致シ方ハ今日勸業銀行、農工銀行、拓殖銀行、興

業銀行等ガ致シテ居ルコトヲ、殆皆此水産銀行ニヤラセルト云フ規定ニナ

ッテ居リマスルノデ、水産事業ノ爲ニ資本ヲ供給スルト云フ意味ハ至極結構デ

アリマスガ、ソレガ爲ニ斯ウ云フ特設銀行ヲ設ケルト云フ必要ハ認ムルコト

ガ出來ヌヤウニ考ヘルノデアリマス、殊ニ水産事業ノ爲ニ今日其資本供給上、

考ヘベキ問題ハ、資本ヲ供給スル人ガ水産業ニ資本ヲ供給スルコトニ付イテ

危ナクナイ、大丈夫デアルト云フ考ヲ起サセルコトガ最モ急務デアリマスノ

デ、ソレハ此擔保ヲ確ニスルナドト云フコトハ、最モ大切デアアル、特設銀行

ヲ拵ヘヌケレバ供給ガ出來ヌト云フコトハ無イノデアリマシテ、此方法ニ於

テハドコマデモ本案ニハ政府ハ反對ヲ致スノデアリマス、其資本ヲ供給スル

ト云フ事柄ハ至極結構デアリマスガ、斯様な銀行ヲ立テテ、シカモ今日費用

ノ多イ所デ六分カラノ補給ヲスルト云フ事柄ハ、是ハドウモ同意ガ出來ナイ

コトト考ヘテ居リマスノデゴザイマス、此事ダケヲ説明ヲ致シマス

〔子爵岡部長職君發言ノ許可ヲ來ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ハ……

○子爵岡部長職君 本案ヲ特別委員ニ付セラルルニ付キマシテ、チヨット一

言申シテ置キタイ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵岡部長職君 唯今、村田君デアリマシタカ、本案ト漁業法中改正法律

案ノ特別委員ト、兩案ハ相牽聯ヲシテ居ルカラ、同一ノ委員ニ付託セラレタ

イト云フ發言ガ出タヤウデアリマスガ、此銀行法案ハ重要ナ法案ト考ヘマ

ス、又漁業法案トハ自ラ性質モ異ッテ居ルモノト存ジマス、是ハ矢張り別ノ

委員ニ付託セラルルコトニ致シタイト思ヒマス、此事ヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 唯今ノ岡部子爵ノ御發言ハ議事日程ノ第十六デ願

ヒタク存ジマス、他ニ御發議モ無イヤウデアリマスカラ、議事日程第十六ニ

○議長(公爵德川家達君) 漁業法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

漁業法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

漁業法中左ノ通改正ス

第七條 漁業權ハ相續、讓渡、共有、貸付、抵當權、國稅滯納處分及強制

執行ノ目的タルノ外權利ノ目的タルコトヲ得ス

漁業權及抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅及處分ノ制限ハ主務官廳ニ請

求シ其ノ登録ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

○子爵岡部長職君 唯今述ベマシタ發議ヲ更ニ提出イタシマス

○村田保君 本員ハ關聯シテ居ル法案ト存ジマス、此漁業法中改正案ハドウ

云フコトデアリマスト申シマスルト、漁業權ヲ擔保ニシヤウト云フ、何ノ爲

ニ擔保ニシヤウト云フト、即チ水産銀行ト云フモノヲ設ケテ水産銀行ガ即

チ其漁業權ヲ擔保トシテ貸付シヤウト云フ譯ニナツテ居リマス、是ハ全

ク關聯シテ居リマスカラ、ソレ故ニ同一委員ニ付託スル方ガ宜カラウト思ヒ

マス

○子爵曾我祐準君 岡部子爵ノ發議ニ同意ヲ致シマス、コレハ別ニナルコト

ヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 村田保君ノ議事日程第十六ノ特別委員ハ議事日程

第十四ノ日本水産銀行法案ト同一ニシタイト云フ動議ノヤウニ議長ハ伺ヒマ

シタガ、其動議ニハ賛成者ガアリマセヌカラ問題ト相成ラスト心得マス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十八ニ移リマス、災害地方田畑地租免

除ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

第一條 明治三十九年中災害又ハ天候不良ニ因リ府縣又ハ北海道ノ全部若

ハ一部ニ於テ收穫者無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限り之ヲ免除

ス

第二條 前條免除ノ申請ハ本法施行後一箇月以内ニ所轄稅務署ニ申出ツヘ

シ此ノ期間ヲ經過シタルトキハ免除ノ處分ヲ受ルコトヲ得ス

明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ出願シタル者ハ本法ニ依ル地

租免除ノ出願ヲ爲シタル者ト看做ス

第三條 本法ニ依リ被害調査中ハ其ノ田畑ノ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

第四條 本法ニ依リテ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除

セス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此災害地ノ免租ノ法案ハ屢々出マシテ毎度問題

ニナツテ居リマシテ、又屢々政府ノ意思ヲ申上ゲテ置キマシタガ、今日ノ所デ

ハ災害ノ場合ニ於テハ地租ヲ延納スルト云フ法律ガ出來テ居リマスノデ、此

法律ガ缺點ガアルカラ直サウト云フコトデアレバ兎モ角モ、斯ウ云フ根本法

ガアルノニ、之ヲ少シモ顧ミナイデ、毎年災害地ノ免租法ガ出ルヤウニナリ

マシタナラバ、延納法ガ設ケラレタ趣意ガ立たヌコトニナリマスノデ、昨年

ハ大軍ガ滿洲ノ野ニアツテ壯丁ノ耕作ニ從事スルト云フコトガ出來ナカッタ

ト云フヤウナ特別ナ事情ガゴザイマシタガ、今年ハ左様ナコトモ無イト云フ

ヤウナ次第デアリマスノデ、本案ニハ政府デハ衆議院案ニハ由來同意ヲセヌ

デ來ツテ居ルコトデゴザイマスカラ、是ダケヲ申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十二ニ移リマス、北海道ニ市制ヲ施行

スル法律案、衆議院提出、第一讀會

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

内務大臣ハ北海道ニ市制ヲ施行スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ市制中府縣トアルハ北海道ニ府縣知事トアルハ北海道廳
長官ニ府縣參事會トアルハ道參事會ニ府縣稅トアルハ北海道地方稅ニ該當
ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質疑モ無イヤウデゴザイマスカラ、議事日
程第二十二ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 北海道會法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

北海道會法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道會法中左ノ通改正ス

第十四條但書ヲ削ル

第十四條ノ二 北海道會ニ道參事會ヲ置キ北海道廳長官、北海道廳高等官

二名及名譽職參事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

名譽職參事會員ハ六名トス

北海道廳高等官ニシテ道參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

府縣制第六十六條乃至第七十四條、第七十九條、第八十二條、第八十三

條及第八十五條乃至第八十七條、第九十四條、第九十六條ノ規定ハ之ヲ

本法ニ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、此議事日程第二十
第二十二ハ、北海道ニ關スル法律案デゴザイマスカラ、同一委員ニシテハ如

何デゴザイマセウカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十四ニ移リマス、北海道地方費法中

改正法律案、衆議院提出、第一讀會

北海道地方費法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十六日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道地方費法中左ノ通改正ス

第七條中「但シ其ノ規定中」ノ下「府縣參事會ノ職務ハ北海道廳長官之ヲ行

ヒ」ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○子爵平松時厚君 此議案モ矢張り北海道ニ關スル案デアリマスカラ、前ノ

委員ト同一委員ニ付スルガ宜カラウト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 平松子爵ニ伺ヒマスガ、平松子爵ノ動議ハ議事日

程第二十、第二十二ノ委員ト同一委員ト云フコトニ伺ッテ宜シウゴザイマス

カ

○子爵平松時厚君 ハイ

○子爵曾我祐準君 賛成シマス

○關義臣君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 平松子爵ノ三案トモ同一委員ト云フコトデ御異存

ゴザイマセスカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十六、裁判所管轄區域變更ニ關スル
法律案、衆議院提出、第一讀會

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十八日

衆議院議長 杉田 定一
貴族院議長 公爵德川家達殿

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中靜岡地方裁判所管内掛川區裁判所管轄遠江國榛原郡中川根村及上川根村ヲ同地方裁判所管内藤枝區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前掛川區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ同區裁判所之ヲ裁判ス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデアリマスカラ議事日程第二十八ニ移リマス

○議長(公爵德川家達君) 明治三十四年法律第二十七號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十年三月十九日

衆議院議長 杉田 定一
貴族院議長 公爵德川家達殿

明治三十四年法律第二十七號中左ノ通改正ス
第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三十二移リマス前ニ諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、此議事日程第二十八ノ法案ハ議事日程第十八ノ法案ト同一委員ニ付託シテ如何デゴザイマセウカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ左様イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三十、貴族院規則第二十八條中改正ノ動議、會議、特別委員長報告、曾我子爵……イヤ誤リマシタ、石黑男爵

貴族院規則第二十八條中改正ノ動議

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十九日

右特別委員長

男爵石黑 忠惠

貴族院議長公爵德川家達殿

「男爵石黑忠惠君演壇ニ登ル」

○男爵石黑忠惠君 豫ネテ御付託ニナリマシタル貴族院規則第二十八條中改正ノ動議ニ付キマシテ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ去ル十六日ト十九日ノ二回ニ開會相成リマシテ、委員殘ラズ出席ニナリマシテ、別ニ議論モゴザイマセズ、全會一致可決イタシマシテゴザイマス、單簡ニ此段ヲ御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 是ハ法律案デゴザイマセヌカラ讀會ノ順序ハ要サナイト考ヘマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、是デ本日ノ議事日程ハ終リマシタ、御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

府縣制中改正法律案特別委員

侯爵細川 護成君 子爵藤井 行徳君 子爵戸田 忠行君

男爵平野 長祥君 男爵辻 健介君 千坂 高雅君

關 清 英君 古莊 嘉門君 本間 千代吉君

鑛業法中改正法律案特別委員

伯爵大村 純雄君 子爵錦織 教久君 子爵高木 正善君

男爵尙 順君 森 山 茂君 藤田 四郎君

安廣伴一郎君 宮本 谷藏君 加藤 宇兵衛君

和歌山縣下郡界變更法律案特別委員

伯爵松木 宗隆君 子爵牧野 貞寧君 長谷部 辰連君

德久 恆範君 男爵川口 武定君 男爵眞田 幸世君

男爵島津 忠欽君 鎌田 榮吉君 谷井 勘藏君

治安警察法中改正法律案特別委員

侯爵德川 賴倫君 伯爵廣澤 金次郎君 伯爵柳原 義光君

大浦 兼武君 關 義臣君 男爵高崎 安彦君

日本水産銀行法案特別委員

男爵長松 篤業君 下郷 傳平君 下村辰右衛門君

子爵鍋島 直彬君 子爵加納 久宜君 子爵山本 實庸君

村田 保君 服部 一三君 男爵青山 元君

漁業法中改正法律案特別委員

子爵松平 乘承君 子爵青山 幸宜君 子爵鍋島 直柔君

男爵山内 豐政君 富井 政章君 柴田 家門君

磯邊 包義君 谷 新助君 橋本 雄造君

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案外一件特別委員

男爵伊達 宗敦君 男爵安藤 直行君 男爵二條 正麿君

西村 亮吉君 松本 鼎君 岡田 良平君

北海道ニ市制ヲ施行スル法律案外二件特別委員

宮島 誠一郎君 秋月 新太郎君 鳥越 貞敏君

侯爵佐竹 義生君 子爵裏松 良光君 男爵北垣 國道君

男爵園田 安賢君 男爵島津 珍彦君 原 保太郎君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案特別委員

岩村 兼善君 並木 和一君 道源 權治君

侯爵池田 詮政君 子爵持明院 基哲君 子爵伊集院 兼知君

男爵野村 素介君 兒島 惟謙君 田邊 輝實君

男爵小早川 四郎君 渡 正元君 宮崎喜久太郎君

午後四時三分散會